LIXIL
INAX

Shower toilet

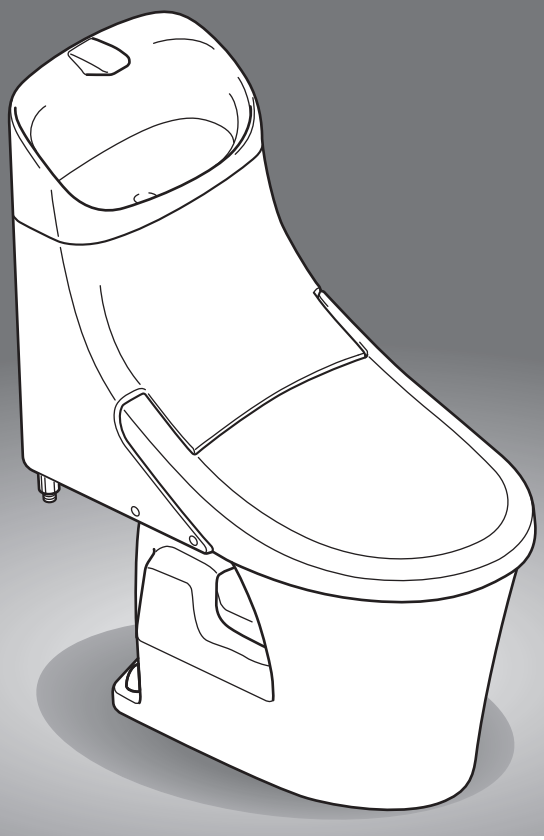
取扱説明書 | 保証書別添 |

メーカー管理用です。

ベーシアシャワートイレ（フチレス）

DT-BA283G 型 ,DT-BA283 型 ,
DT-BA282G 型 ,DT-BA282 型 ,DT-BA281 型
DT-BA253G 型 ,DT-BA253 型 ,
DT-BA252G 型 ,DT-BA252 型 ,DT-BA251 型

シャワートイレは、高齢の方、お体の不自由な方、ご病気の方、小さなお子さまも、おひとりでご使用になるものです。
しかも肌に直接触れます。万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、快適にお使いいただくために、
必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。



■ 必ずお読みください
○安全上のご注意 …… 1
■ 故障を防ぐためのご注意
○お取り扱い上のご注意 …… 5
■ 最初にお読みください
○各部のなまえ …… 7
○ご使用前の準備と確認
①止水栓を開く …… 8
②電源を接続する …… 8
③流す【大】または本体の洗浄ハンドルを操作する …… 10
④シャワーを出す …… 10
⑤温度を調節する …… 10
○機能の紹介 …… 11
■ ご使用方法
○一般的な使い方
①便座に座ると鉢内スプレーが作動する …… 13
②自動的に脱臭が作動する …… 13
③シャワーで洗う …… 14
④便器を洗浄する …… 16
○便利な使い方
節電 …… 17
もっと快適に …… 18
■ 知っておけば便利で安心
○知っておいていただきたいこと …… 20
○こんなときは …… 21
○断水したときの便器洗浄のしかた …… 22
○凍結しそうなときは …… 23
○長期間使用しないときは …… 26
■ お掃除・お手入れ方法 …… 27
■ 故障かな？と思ったら
○修理を依頼する前に …… 41
■ 安全・安心にお使いいただくために …… 50
■ アフターサービス …… 53
■ 別売品のご案内 …… 56
■ 仕様 …… 57
■ LIXIL お客さま窓口 …… 裏面

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

❖ 安全上のご注意・必ずお守りください

1～4ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

★工事店様へ 貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

プラ
袋:PE

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	注意
この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。	この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

⚠ 警告

ぬれた手で
電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電の恐れがあります。

電源プラグの抜き差しは
プラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。

シャワートイレ本体や
電源プラグに水や洗剤を
かけない。
※ 感電・火災の原因になります。

電源プラグは
定期的にコンセントから抜いて
乾いた布でふき取る。
※ 電源プラグにたまったホコリにより火災の恐れがあります。

●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。

電源コードにキズを付けたり、
破損したり、加工したり、
無理に曲げたり、引っ張ったり、
ねじったり、束ねたり、
重いものを載せたり、
狭み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。

電源プラグは
根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災の恐れがあります。

ガタついているコンセントや
アースターミナル付接地極付以外の
コンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。

アース線はコンセントの
アースターミナルへ確実に
接続する。
※ 感電などの原因になります。

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

⚠	禁止	指示実行
この表示は「注意しなさい！」の記号です。（左記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）	この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。	この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠ 警告

指示実行

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する。

※ 身体への著しい障害をまねく恐れがあります。

指示実行

長時間使用するときや、次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

電池は以下のことを守り、正しく使用する。

- ⊕⊖を正しく入れる。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
- 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行う。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

- 乳幼児の手の届く場所には置かない。

※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流す。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗う。

※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。

禁止

電池を取り扱うときは、以下のことはしない。

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しない。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れない。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

水場使用禁止

バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。

※ 感電・火災の原因になります。

指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。
（☞ 23 ページ）

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。

※ 感電・火災・ケガの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。

※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

禁止

便器（陶器）のお手入れには次の洗剤を使用しないでください。

- 強いアルカリ性洗剤、フッ素系洗剤、研磨剤入りの洗剤
  ※ 陶器表面を傷つけてしまいます。
- 撥水作用や表面コート作用などがある洗剤やお掃除道具
  ※ 陶器表面が覆われることで、防汚性能が十分に発揮できなくなります。
- 塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤
  ※ 気化したガスにより、故障・破損の原因になります。

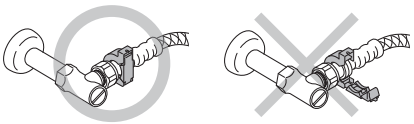
指示実行

洗剤を使ってお手入れするときは十分に換気をしてください。またその後、便座・便フタは開けたままにしておいて下さい。

指示実行

クリップは給水ホースに、確実にはまっていることを確認する。

※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。



禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

水道水以外に接続しない。

※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

禁止

便フタや本体の上に乗らない。

※ 破損してケガをする恐れがあります。

禁止

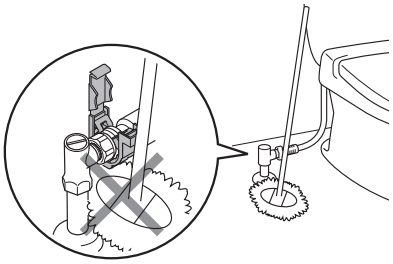
止水栓に手をかけたり、乗ったりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

お掃除のときなどに、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けない。

※ クリップの破損などにより給水ホースが外れ、室内浸水の原因になります。



火気禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけない。

※ 火災の恐れがあります。

接触禁止

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部には絶対に触れない。

※ 破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

⚠ 注意

禁止

便フタにもたれない。

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

禁止

便器に熱湯を注がない、また衝撃を与えない。

※ 破損部でケガをすることがあります。
※ 破損や漏水の恐れがあります。

指示実行

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。

※ 部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害の恐れがあります。

指示実行

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。

※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜く。（☞ 26 ページ）

※ 凍結破損により火災・室内浸水の恐れがあります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症などをおこす恐れがあります。

指示実行

お掃除のときには必ず電源プラグをコンセントから抜く。

※ 感電の恐れがあります。
（ノズル掃除を使用する場合は、電源を入れた状態で行ってください。）

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が転倒に注意する。

- お子さま
- お年寄り
- ご自分で座ることや立ち上がることができない方

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

指示実行

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。

※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

●タンク・フタを開けない。

※ 感電の恐れがあります。

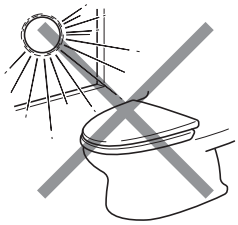
禁止

●タンク手洗部およびタンク内で石けん類、芳香洗浄剤などの洗剤、薬品類を使用しない。

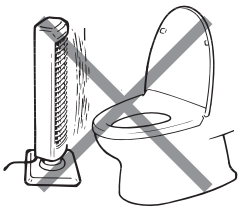
※ 漏水や止水不良、作動不良の原因となる恐れがあります。

お取り扱い上のご注意

直射日光が当たらないようにしてください。
※ プラスチック部が変色することがあります。
※ リモコンや人体検知センサーの作動不良の原因になります。

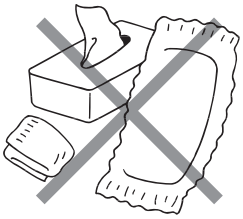


シャワートイレ本体や付属品にストーブやヒーターなどを近づけすぎないでください。
※ 変色や故障の原因になります。

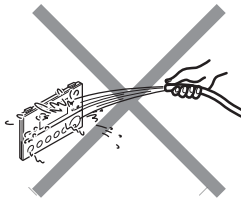


便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※ 割れたり漏電など故障の原因となることがあります。

トイレットペーパー以外の紙を使用したり、便鉢に配管が詰まるような異物を落とさないでください。
誤って落とした場合は、水を流す前に拾いだしてください。



リモコンに水や洗剤をかけないでください。
※ 故障の原因になります。



万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。
詰まったまま水を流さないでください。
※ 便器から汚水があふれて、床を汚すことがあります。

プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないでください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。
また、ヘアスプレーなどをご使用の場合は、室内に成分が留まらないよう、十分な換気を行ってください。
※ 光沢がなくなることがあります。
※ 故障の原因になります。

本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
詳しいお手入れ方法は 27 ページをご覧ください。
※ キズがつき光沢がなくなることがあります。

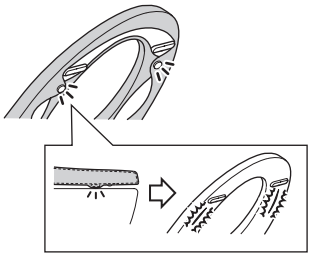
〈手洗鉢付の場合〉
手洗鉢にトイレットペーパーやゴミなどを流さないでください。
また､ぞうきんやモップなどを洗わないでください。
※ 漏水や止水不良の原因になります。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※ 故障の原因になります。

洗浄時に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、流れっ放しになる場合があります。
その際は、洗浄ハンドルを戻してください。
（☞ 21 ページ）

不適切な便座カバーを
取り付けないでください。

※ 他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。
※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れることがあります。
※ 着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。
※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくることがあります。



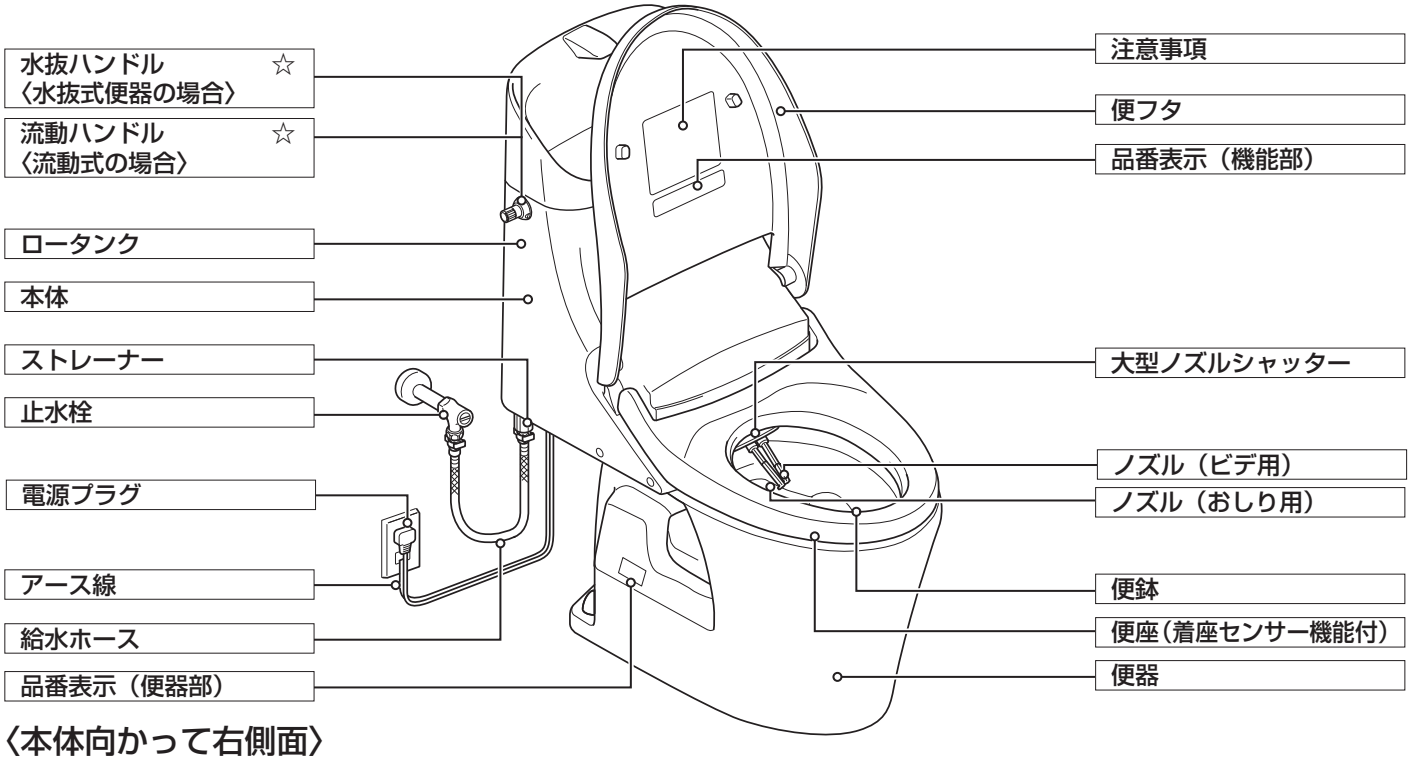
汚物の大きさ、量、比重の違いや
トイレットペーパーの量、種類によっては、
1 回の洗浄で完全に流れきらずに残ることが
あります。
大洗浄で 1 度に流すトイレットペーパーの量は
5m 程度を目安にしてください。
トイレットペーパーの量については JIS 規格を参考
にしております。

バリウムなど、水に溶けにくく重いものは 1 度の
洗浄では流しきれない場合があります。
完全に流せない場合は便器内に残ったバリウム
および汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと
数回洗浄してください。

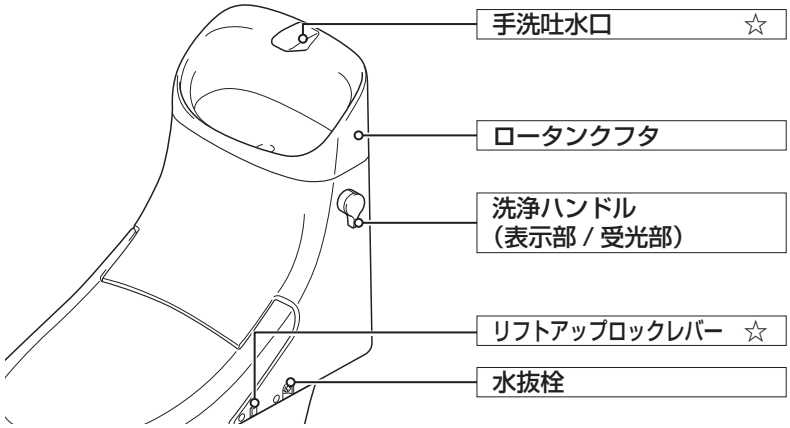
各部のなまえ

全体図

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



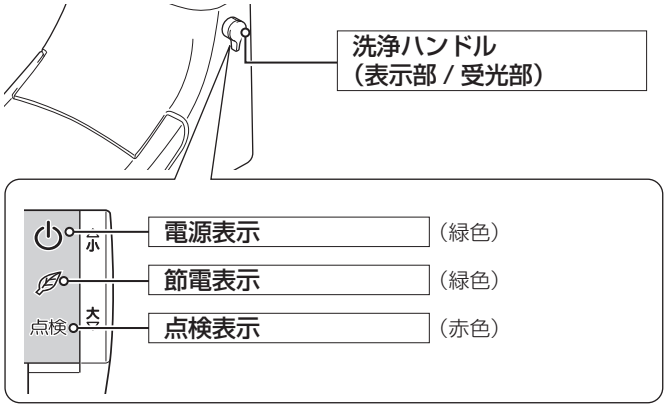
〈本体向かって右側面〉



※操作は、リモコン操作のみになります。
※図は手洗付、化粧板無の場合です。
※化粧板付のグレードもあります。

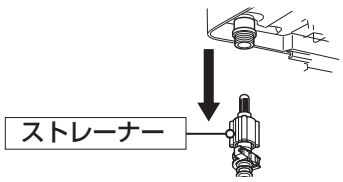
洗浄ハンドル（表示部 / 受光部）

〈本体向かって右側面〉



ストレーナー

〈本体左底面〉

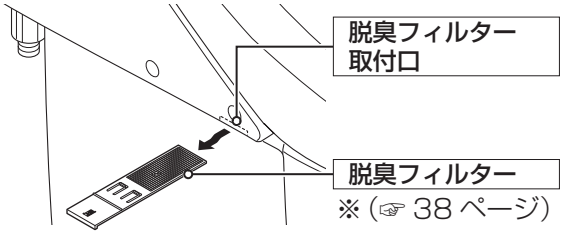


※ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
※ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、布などを下に置いてください。（☞ 39 ページ）

各部のなまえ / ご使用前の準備と確認

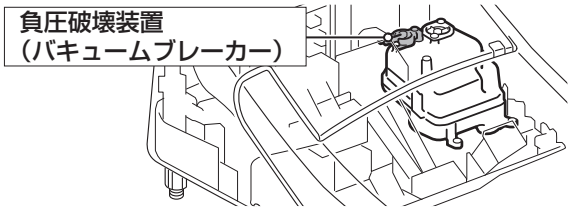
脱臭フィルター☆

〈本体左側面〉



※（☞ 38 ページ）

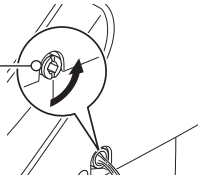
負圧破壊装置（バキュームブレーカー）



※ バキュームブレーカーは、本体に内蔵されています。また、定期的な点検が必要です。（☞ 53 ページ）

温水タンク水抜栓

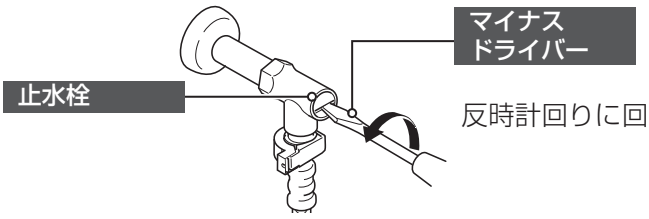
〈本体向かって右側面〉



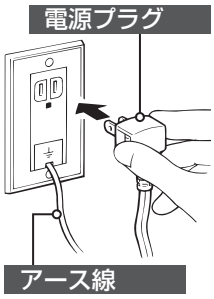
※ 温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。（☞ 26 ページ）

STEP 1 止水栓を開く

※「止水栓」が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
※ ロータンクへの給水中、便器の中に少しずつ水が流れる場合があります。

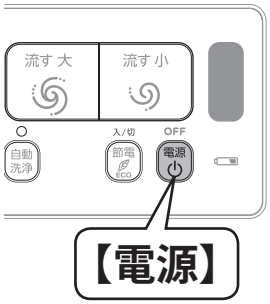


STEP 2 電源を接続する



- **「アース線」をアース端子に接続する**
- **「電源プラグ」をコンセント（AC100V）に差し込む**

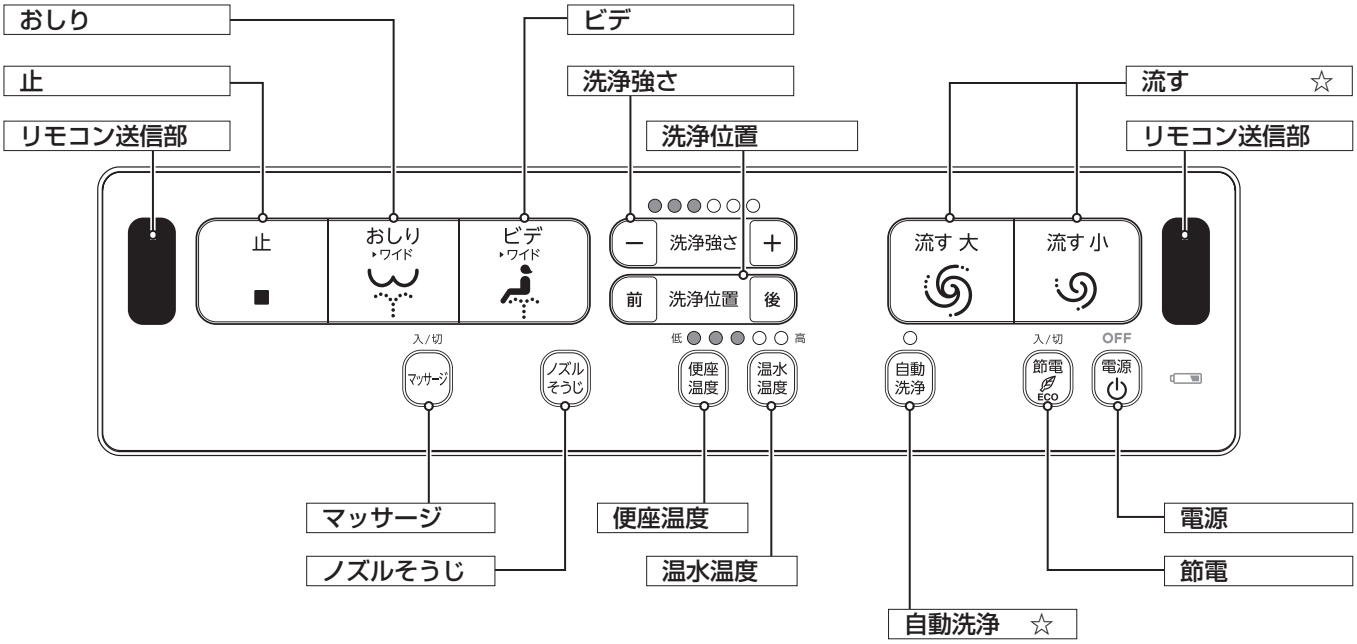
※ 本体表示部の「電源表示」（緑色）の点灯を確認してください。
「電源表示」が点灯しなかった場合は、リモコンの【電源】を押してください。



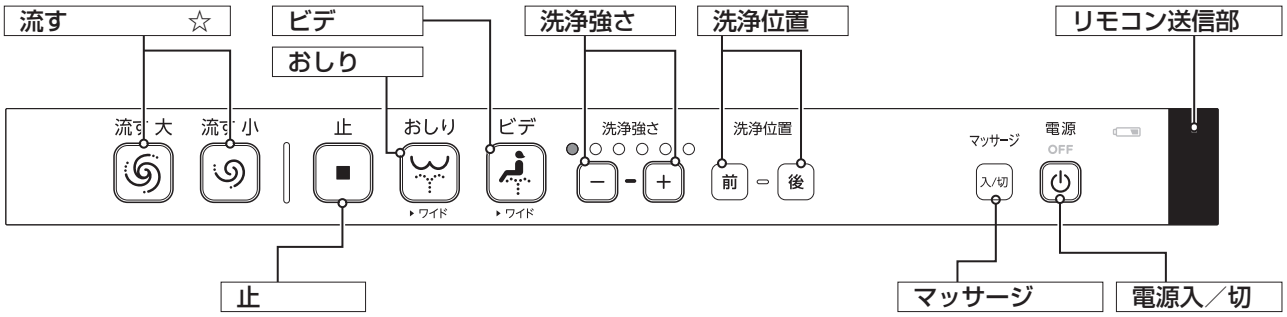
[注意]
- 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

ご使用前の準備と確認

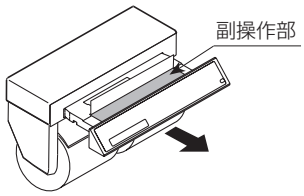
〈壁リモコン〉※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



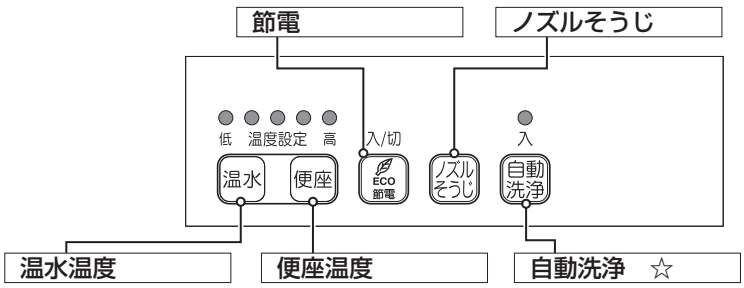
〈インテリアリモコン〉※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



● 副操作部



リモコンを引き出し、
フタを開けます。



（参考）
- 壁リモコン、インテリアリモコンの電源スイッチで電源を「入」にした場合、すべてのランプが数秒点灯します。
- 壁リモコン、インテリアリモコンの電源スイッチで電源を「切」にした場合、OFF ランプが数秒点灯します。
- 壁リモコン、インテリアリモコンの表示ランプはボタン操作後数秒で消灯します。

STEP 3 流す【大】または本体の洗浄ハンドルを操作する

※便器洗浄の水が出ることを確認してください。

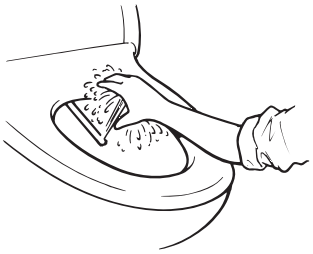
STEP 4 シャワーを出す

1 腕まくりをし、肌で便座に触れる

※人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。
シャワーは、着座していないと作動しません。

2 【おしり】を押す

※温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。このようなときは、洗浄強さを「強」にしてください。



3 ノズルの先端に手をかざしてシャワーを受け止める

※温水タンクが満水でない場合、約 1 ～ 2 分かかることがあります。

4 【止】を押して、シャワーを止める

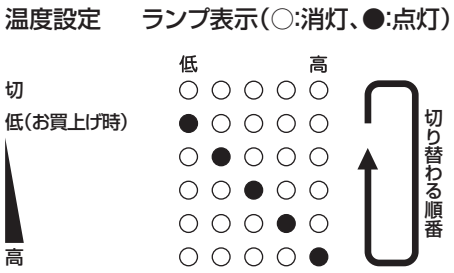
STEP 5 温度を調節する

●【温水温度】を押す

※シャワー温度を調節します。温水温度は 6 段階（「切（水温）」、「低（約 32℃）」～「高（約 40℃）」）に切り替えできますので、季節に応じてお好みの温度に設定してください。

●【便座温度】を押す

※便座温度を調節します。便座温度は 6 段階「（切（室温）」、「低（約 28℃ ）」～「高（ 約 36℃ ）」に切り替えできますので、季節に応じてお好みの温度に設定してください。



⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

（参考）

- シャワーと便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。（☞ 18 ページ）
- 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としています。使用環境などによっては、便座が冷たいと感じる場合があります。

❖リモコンの表示ランプについて

スイッチを押さない時間が数秒続くと、ランプが消灯します。設定中にランプが消灯した場合は、もう一度スイッチを押して設定をしてください。

機能の紹介

品番は、便フタ裏の機能部品番表示、便器品番表示（☞ 7 ページ）に記載されています。お持ちの機能をご確認ください。

キレイ機能			BA3G	BA3	BA2G	BA2	BA1
アクアセラミック（ISO 抗菌準拠）	―	汚れが付きにくい衛生陶器に最適な新素材。	△	△	△	△	△
ハイパーキラミック（ISO 抗菌準拠）	―	キズ汚れに強く、銀イオンパワーの抗菌効果。	チェンジオプション※1				
鉢内スプレー	☞ 13	便器の表面を濡らし、汚物汚れを付きにくくするのでお掃除もラクラク。	○	○	―	―	―
パワーストリーム洗浄	―	勢いのよい水流で、グルッと強力に洗い流します。	○	○	○	○	○
お掃除リフトアップ	☞ 31	お掃除できなかった便器とのすき間をラクラクお掃除。	○	―	○	―	―
			手動				
ノズルシャッター	☞ 33	使わないときは、ノズルを収納。着脱式でお掃除ラクラク。	○	○	○	○	○
			スッキリノズルシャッター				
ノズルそうじ	☞ 34	スイッチ操作でノズルを洗浄します。	○	○	○	○	○
ノズル先端着脱	☞ 36	ノズルの先端が交換可能でいつも清潔。	○	○	○	○	○
キレイ便座	―	つぎ目をなくし、さらに便座の裏の防汚処理でお掃除ラクラク。	○	○	○	○	○
女性専用レディスノズル	―	女性にやさしいビデ専用ノズル。	○	○	○	○	○
ノズルオートクリーニング	☞ 14	使用前後にノズルをたっぷりのお湯で洗います。	○	○	○	○	○
便フタワンタッチ着脱	☞ 30	便フタが簡単に取り外せて、お掃除ラクラク。	○	○	○	○	○
抗菌樹脂（ISO 抗菌準拠）	☞ 29	銀イオンパワーの抗菌効果。	○	○	○	○	○

エコ機能			BA3G	BA3	BA2G	BA2	BA1
超節水トイレ	―	従来品に比べ、2 日でおフロ 1 杯以上の節水効果。	ECO5				
スーパー節電	☞ 17	使わないときは、自動的に便座温度と湯温を下げて節電します。	○	○	○	○	○
ワンタッチ節電	☞ 17	スイッチ操作で一定時間、ヒーターをオフにして節電します。	○	○	○	○	○
			（8h）				
電源スイッチ	―	スイッチ操作でこまめに節電。	○	○	○	○	○

洗浄機能			BA3G	BA3	BA2G	BA2	BA1
おしり洗浄	☞ 14	お湯のシャワーで、おしりをスッキリ洗浄。	○	○	○	○	○
			泡ジェット				
おしりワイド洗浄	☞ 15	ノズルが前後に動き、広い範囲を洗浄。	○	○	○	○	○
おしりマッサージ洗浄	☞ 15	強弱をつけた洗浄で、おしりを刺激。	○	○	○	○	○
ビデ洗浄	☞ 14	ソフトなシャワーでやさしく洗浄。	○	○	○	○	○
ワイドビデ洗浄	☞ 15	ノズルが前後に動き、広い範囲をやさしく洗浄。	○	○	○	○	○
			ワイドビデ洗浄				
ノズル位置調節	☞ 15	ノズルをお好みの位置に調節。	○	○	○	○	○

※ 1 アクアセラミック仕様の便器は品番の最初に「Y」が付いています。（例：YBC-XXXX）ハイパーキラミック仕様の便器は「Y」はありません。（例：BC-XXXX）

○：保有機能あり　－：保有機能なし　△：オプション

快適機能			BA3G	BA3	BA2G	BA2	BA1
フルオート便器洗浄（リモコン便器洗浄）	☞16	便座から立ち上がると自動的に便器を洗浄。	○※2	○※2	－	－	－
自動脱臭	☞13	便座に座ると自動で脱臭。	○ Wパワー脱臭	○ Wパワー脱臭	○ パワー脱臭	○ パワー脱臭	－
暖房便座	☞10	寒い日でも、おしりあたたか。	○	○	○	○	○
スローダウン便座	－	便座がゆっくり閉まって、閉まる時の音を軽減します。	○	○	○	○	○
便座ヒーターオートOFF	☞18	便座に座るとヒーターOFF。低温やけどを防止します。	○	○	○	○	○
着座センサー	☞20	人が座らないと作動しない誤作動防止センサーです。	○	○	○	○	○
リモコン	－	見やすく、ラクな姿勢で操作できます。	○	○	○	○	○
インテリアリモコン	－	紙巻機と一体になったインテリア性を重視したリモコンです。	△ チェンジオプション	△ チェンジオプション	△ チェンジオプション	△ チェンジオプション	－
点字対応	－	目の不自由な方に配慮した点字対応。	○	○	○	○	○
停電対応	－	停電時も安心。	○	○	○	○	○

※2 男子小用時には自動洗浄しません。

一般的な使い方

STEP 1 便座に座ると鉢内スプレーが作動する

※この機能のついていない機種があります。
11 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

鉢内スプレー

便器内にミストを噴出し、便器に汚物が付着するのを軽減します。
※便座に座ると約 5 秒間、便器鉢内にミストを噴出します。

（参考）
●鉢内スプレーを「切」にすることができます。
（☞ 18 ページ）

〔注意〕
●鉢内スプレーは、立ち上がってから約 80 秒間は噴出しません。

STEP 2 自動的に脱臭が作動する

※この機能のついていない機種があります。
11 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

DT-BA283 型 /BA253 型の場合（W パワー脱臭）

❶座っている間は通常脱臭
脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

❷立ち上がると強力脱臭
脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

❸脱臭停止
脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

DT-BA282 型 /BA252 型の場合（パワー脱臭）

❶座っている間は脱臭
脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

❷脱臭停止
脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

（参考）
●自動脱臭を「切」にすることができます。（☞ 18 ページ）

STEP 3

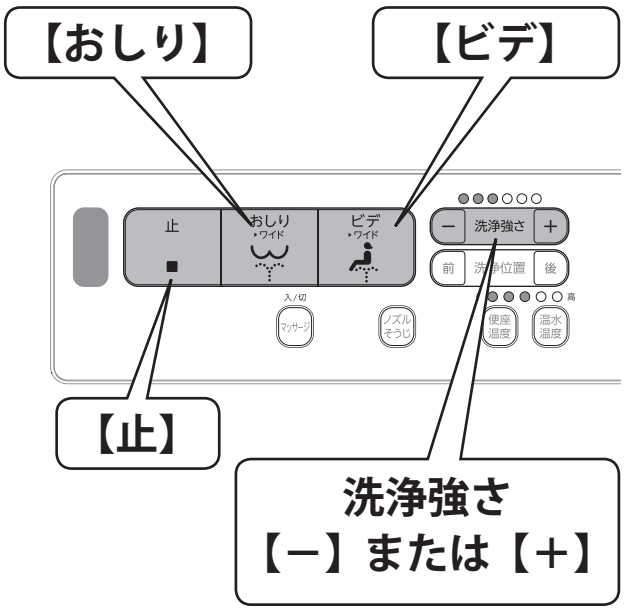
シャワーで洗う

● 【おしり】【ビデ】のいずれかを押す

※おしり洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
※ビデ洗浄は生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。

● 止めるときは【止】を押す

※洗浄時間は 10 秒～ 20 秒を目安にご使用ください。



洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの【－】または【＋】を押す

※洗浄強さは 6 段階あります。水勢は「弱」から試し、慣れたら徐々にお好みの水勢でご使用ください。
※表示ランプは数秒後に消灯します。

[注意]
- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- シャワー使用時に便器洗浄を行うとシャワーを停止します。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、直腸内部、膣内部、尿道内部は洗わないでください。
  ※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

(参考)
- リモコンの表示ランプは数秒後に消灯します。シャワーを使用する前に【止】を押すと、ランプが点灯し、洗浄強さの設定を確認できます。

❖シャワーは
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

❖ノズルオートクリーニングについて
シャワーの前と後に自動でノズルを洗うノズルクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は
シャワー使用時とその前後、および温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。(☞ 21 ページ)

一般的な使い方

ワイド洗浄

シャワー使用中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

● シャワー使用中に、もう一度同じスイッチを押す

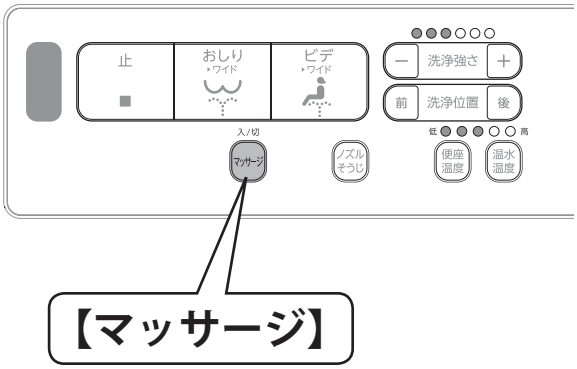
※【おしり】【ビデ】、それぞれを押すたびに「入／切」が切り替わります。
※洗浄を止めると、自動的に「切」に戻ります。

マッサージ洗浄

おしり洗浄中、洗浄の強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。
※ビデ洗浄にはマッサージ機能はありません。

● おしり洗浄中に、【マッサージ】を押す

※【マッサージ】を押すたびに、「入 / 切」が切り替わります。
※マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

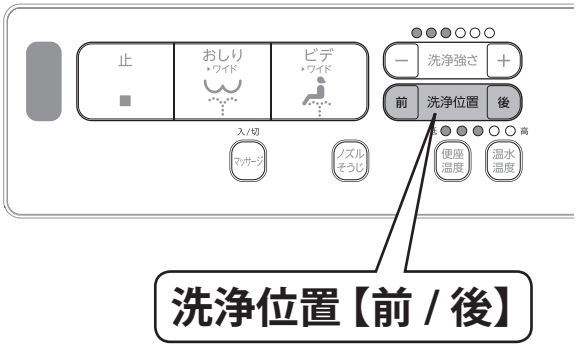


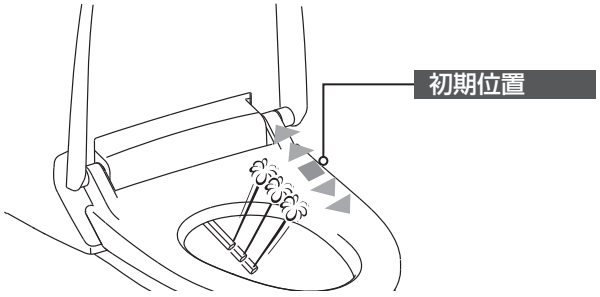
洗浄位置

シャワー使用中に、洗浄位置の前・後を調節することができます。

● シャワー使用中に、洗浄位置の【前】または【後】を押す

※洗浄位置は 5 段階に調節することができます。
※初期位置、前 2 段、後 2 段の計 5 段階です。
※便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。





STEP 4

便器を洗浄する【フルオート便器洗浄】/【手動洗浄】

※この機能のついていない機種があります。
11 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

フルオート便器洗浄

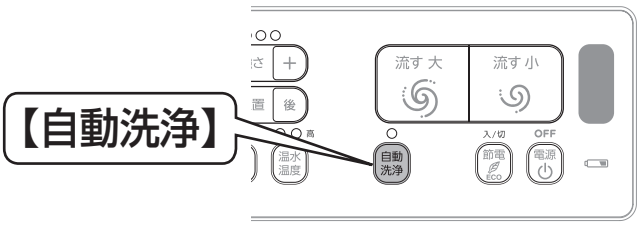
立ち上がると、自動的に便器洗浄を行います。
※お買い上げ時は「入」になっています。

設定を切り換えるとき

【自動洗浄】を押す

【自動洗浄】を 1 回押すと、自動洗浄の設定を確認できます。設定を変更するには 5 秒以内にもう 1 回押してください。

自動洗浄ランプが点灯 ･･･ 自動で便器洗浄をする
↓↑
自動洗浄ランプが消灯 ･･･ 自動で便器洗浄をしない

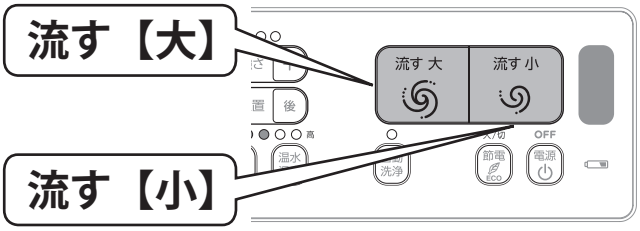


(参考)
●「入」のとき自動洗浄ランプは数秒後に消灯します。
●【止】を押すと、自動洗浄の設定を確認できます。(おしり / ビデ洗浄中、乾燥中および電源 OFF 中は除く)

リモコンで便器を洗浄するとき

**大便時は流す【大】を、
小便時は流す【小】を押す**

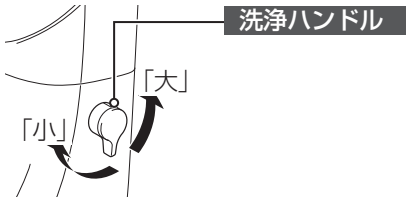
※大便時に流す【小】を押すと、汚物が流れないことがあります。



手動洗浄

**● 大便時は「洗浄ハンドル」を奥に回す、
小便時は「洗浄ハンドル」を手前に回す**

※大便時に「小」側に回すと、汚物が流れないことがあります。



[注意]
●便器洗浄中に電源プラグを抜かないでください。
※洗浄水が流れっ放しになります。
●断水した場合は「断水したときの便器洗浄のしかた」にしたがって便器内を洗浄してください。(☞ 22 ページ)
●女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコン「大」洗浄または手動「大」洗浄にて再度洗浄してください。
●一回目の便器洗浄から間を置かずに二回目を行うと、洗浄ができない場合があります。
このようなときは、しばらく間を置いてから手動洗浄にて洗浄を行ってください。
●水の流れが悪い、または、汚物がよく残る場合は「修理を依頼される前に」をご確認ください。(☞ 44 ページ)

❖洗浄のタイミングは
フルオート便器洗浄は、便座に 10 秒以上座り、立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 2 秒、約 10 秒、約 15 秒後に切り替えることができます。(☞ 18 ページ)

❖手洗付タンクは
手を洗うときは便器洗浄と同時に手を洗ってください。
便フタが開いた状態で手が洗いにくい場合は、便フタを閉じてご使用ください。

❖大洗浄と小洗浄の区別は
フルオート便器洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上:大洗浄」･「50 秒未満:小洗浄」を行います。
(ただし 50 秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。)

節電

節電機能にはワンタッチ節電（8 時間）とスーパー節電（常時）の 2 種類があります。スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電（8 時間）を併用することで、効果的な節電ができます。お買い上げ時は「切」の状態になっています。

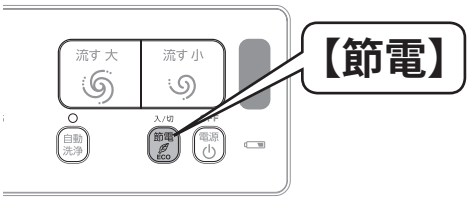
ワンタッチ節電（8 時間）

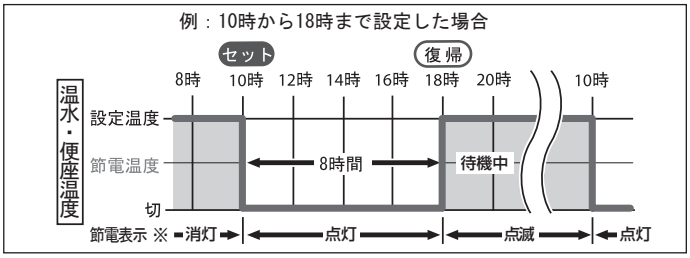
長時間使用しない夜間など、スイッチを押してから 8 時間、温水と便座のヒーターを「切」にして消費電力を抑える節電機能です。8 時間後は元の状態に戻り、毎日同じ時間に自動で便座ヒーターを切ります。
時間を変更したい場合は、その時間に設定作業をしてください。

1 【節電】を押す

※【節電】を押すたびに設定が切り替わります。
※設定状態は本体表示部の節電表示でご確認ください。（☞ 7 ページ）

切 ⇔ **ワンタッチ**
消灯　　点灯 / 点滅





※ワンタッチ節電中は節電表示が点灯します。
待機中は節電表示が点滅します。

●洗浄ハンドル（表示部 / 受光部）

（参考）
●停電時や電源プラグを抜いたときは、ワンタッチ節電の設定がリセットされます。

スーパー節電（常時）

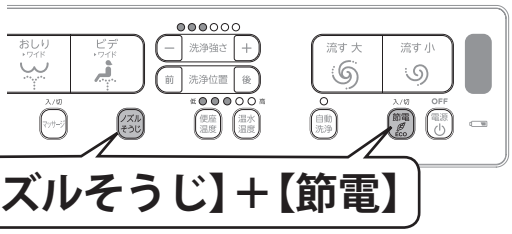
使用していないとき、温水と便座の温度を下げて消費電力を抑える節電機能です。
※使用していないときは常に節電しています。

1 以下のボタン操作を行う

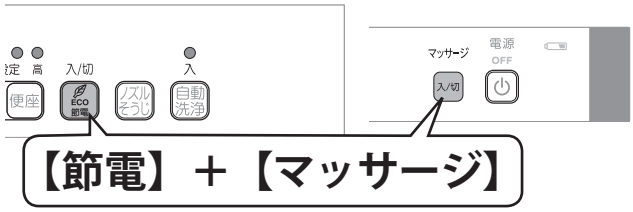
〈壁リモコンの場合〉
【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す。
〈インテリアリモコンの場合〉
【節電】と【マッサージ】を同じタイミングで 2 秒以上押す。
※操作をするたびに設定が切り替わります。
※設定状態は本体表示部の節電表示でご確認ください。（☞ 7 ページ）

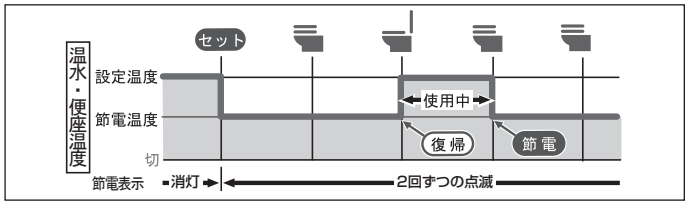
切 ⇔ **スーパー**
消灯　　2 回点滅

●壁リモコン



●インテリアリモコン





※ワンタッチ節電と併用した場合、ワンタッチ節電中（8 時間）は本体の節電表示が点灯し、ワンタッチ節電待機中（16 時間）は節電表示が 2 回ずつ点滅します。

●洗浄ハンドル（表示部 / 受光部）

（参考）
●節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
●節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

お好みの設定に

各種の設定を変更することができます。
操作方法のボタンを同じタイミングで 2 秒以上押すことで設定を「入」にすることができます。

機能説明		操作方法
自動脱臭	自動で脱臭が動作しないようになります。	【止】＋【ビデ】
便座ヒーター オート OFF	便座に座ると自動で便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドがおこりにくくなります。	【ビデ】＋【マッサージ】
洗浄強さを さらに強くする	シャワーの洗浄強さ「強」を、さらに 1 段階強くすることができます。	【おしり】＋【節電】
便器洗浄の 開始時間を変更する	フルオート便器洗浄の、立ち上がってから自動的に便器洗浄を開始する時間を切り替えることができます。 ※ 同じ操作をするたびに、開始時間が、6 秒→ 10 秒→ 15 秒 → 2 秒→ 6 秒…の順に切り替わります。（下図参照） **初期設定** **→ 6 秒 ⟶ 10 秒 ⟶ 15 秒 ⟶ 2 秒 →**	【止】＋【ノズルそうじ】
鉢内スプレー	鉢内スプレーを「切」にすることができます。	【便座温度】 ＋ 【ノズルそうじ】

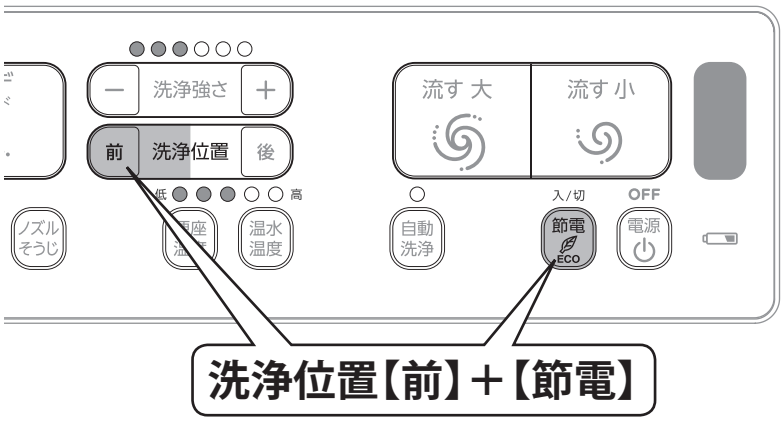
※ 設定が「入」になると電源表示が 1 回、「切」または、お買い上げ時の設定に戻ると 2 回点滅します。

元の設定に戻すときは、もう 1 度、操作方法ボタンを同じタイミングで 2 秒以上押す

お買い上げ時の設定に戻す

「便利な使い方」の操作で本商品の設定を変更した場合でも、すべての機能をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

【節電】と洗浄位置【前】を同じタイミングで 2 秒以上押す



■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。

機能説明		お買い上げ時の設定
脱臭	自動脱臭	入
節電	ワンタッチ節電	切
	スーパー節電	切
洗浄強さ	「強」を更に強く	切
温水温度		低
便座温度		低
便座ヒーターオート OFF		切
フルオート便器洗浄		入
		立ち上がってから 6 秒後に開始
凍結防止		切
鉢内スプレー		入

変更した設定の記憶について

「便利な使い方」などで設定を変更した場合、電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても変更した設定は記憶されています。（ワンタッチ節電は電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 17 ページ）

知っておいていただきたいこと

温水になるまで約 10 分かかります。

「おしり洗浄またはビデ洗浄」を長時間使用すると、シャワー温度がしだいに低下し、最後は水になります。温水になるまで約 10 分間かかります。

シャワーと便座の温度は一定に調節しています。

シャワーは、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

温水タンク内制御温度

切 (水温)、低（約 32℃）～高（約 40℃）

便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

便座温度

切 (室温)、低（約 28℃）～高（約 36℃）

着座センサーで誤操作を防止します。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。

※便座に座らないと［おしり洗浄］、［ビデ洗浄］の各機能が作動しません。
※便座に便座カバー・便フタカバーを付けた場合、不適切なカバーをご使用になると着座センサーが入りっ放しになったり、また入らなかったりすることがあります。
※便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄などの操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上がり、1 ～ 2 秒たってから再度座ってください。

小用時には。

●洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
●着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

便座・便フタはゆっくり閉じます。

便座・便フタには、誤って閉じたときなど、衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるように［スローダウン機構］が装備されています。

※強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

電池消耗お知らせサインが付いています。

リモコンの「電池マーク」点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。お早めに新しい電池に交換してください。

(☞ 40 ページ)

※部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。(信号が弱くなるため)
※トイレのドアを開けたままや「電池マーク」点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

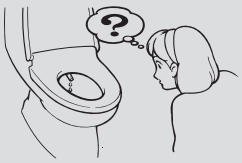
省エネのために。

●使用後は便フタを閉じる
●便座カバーを取り付ける
●便座や温水の設定はむやみに高温にしない
●季節の気温に合わせてこまめに温度調節をする
●節電機能のある機種ではできるだけ節電機能を利用する
●長時間の外出など、不在時はこまめに電源を切る

※便座カバーは、こまめに洗濯して清潔さを保ってください。
※凍結の恐れがある場合は、電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておく必要があります。「凍結しそうなときは」をご参照ください。
(☞ 23 ページ)

こんなときは

ノズルの付近から出る水は？



シャワー使用時とその前後、および温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

洗浄強さが「弱」では ノズルが出てこない。

このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。
このようなときは、洗浄強さを強くしてください。
(☞ 14 ページ)

ラジオやテレビに雑音が入る。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

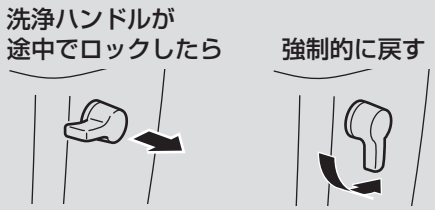
結露が出た。

室温と便器･本体･止水栓の表面温度差や湿度により、便器・本体・止水栓の表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふき取ってください。
また、別売品として、結露防止カバー（止水栓用）(品番:CWA-106)を用意しています。(☞56ページ)

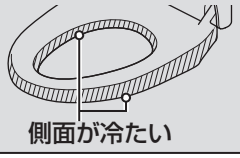
※ 結露水は床のシミや破損の原因になります。
※ 本便器は結露しにくい構造になっていますが、室温などの条件により結露する場合があります。

洗浄ハンドルが途中で止まったら。〈フルオート便器洗浄付の場合〉

自動洗浄の作動中に停電すると、洗浄ハンドルが途中で止まる可能性があります。そのままでは洗浄水が流れっぱなしになってしまいますので、洗浄ハンドルを強制的に元の位置に戻してください。
※ 戻すときに強い音が鳴りますが、異常ではありません。



便座の側面が冷たい。



便座の暖房機能は便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じることがあります。

断水したときの便器洗浄のしかた

断水したときの便器洗浄

バケツ１杯（５～６Ｌ）の水を、水飛びに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように３～４Ｌの水を注いでください。
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。
※小洗浄も同じように流してください。

[注意]
- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すときなど、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。
- コンセント部分に水がかからないようにご注意ください。

凍結しそうなときは

冬期などの冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。
凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。
（電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。）

室内を暖房できる場合：	「一般的な凍結防止方法」をご確認ください
室内を暖房できない場合：	便器が流動式の場合：「流動式便器の凍結防止方法」をご確認ください。 建物に水抜栓がある場合：「水抜式の凍結防止方法」をご確認ください。

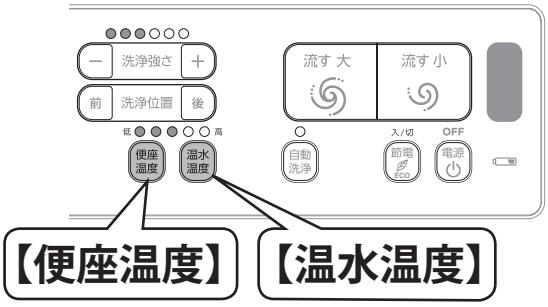
⚠注意

凍結の恐れがある場合は、
必ず凍結防止操作を行う。
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

指示実行

一般的な凍結防止方法

1【温水温度】を「高」、【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる
2 節電を解除する（☞ 17 ページ）
3 室内を暖房する

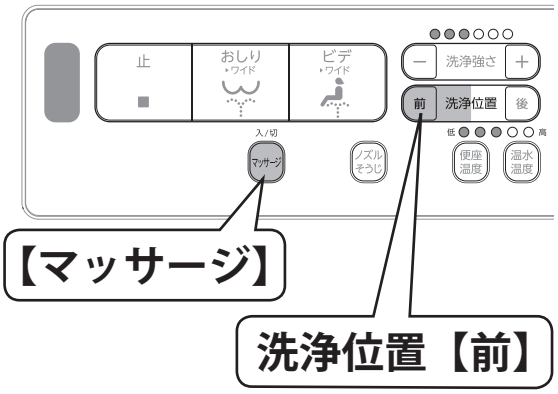


流動方式 / 間欠流動方式の凍結防止方法

1【温水温度】を「高」、【便座温度】を「高」にして便フタを閉じる
2 節電を解除する（☞ 17 ページ）
3 流動の設定を「入」にする。

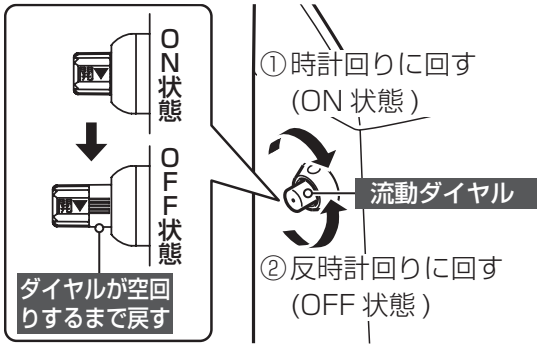
〈DT-BA2＊3 型（間欠流動方式）の場合〉
【マッサージ】と洗浄位置【前】を同じタイミングで 2 秒以上押す。
※ 使用されていない間、4 分間隔で便器を洗浄し、凍結を防止します。

〈DT-BA2＊2W 型、DT-BA2＊1W 型（流動式）の場合〉
流動ダイヤルを時計回りに回す
※ 操作から約 1 分後にロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようになります。



流動状態を解除するとき

〈DT-BA2＊3 型（間欠流動方式）の場合〉
【マッサージ】と洗浄位置【前】を同じタイミングで 2 秒以上押す。
〈DT-BA2＊2W 型、DT-BA2＊1W 型（流動式）の場合〉
流動ダイヤルを反時計回りに空回りするまで回して戻す



水抜き方式の凍結防止方法

1【温水温度】を「高」、【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる

2 節電を解除する（☞ 17 ページ）

3 建物の水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

※水抜栓を操作する場合は、止水栓を閉じないでください。

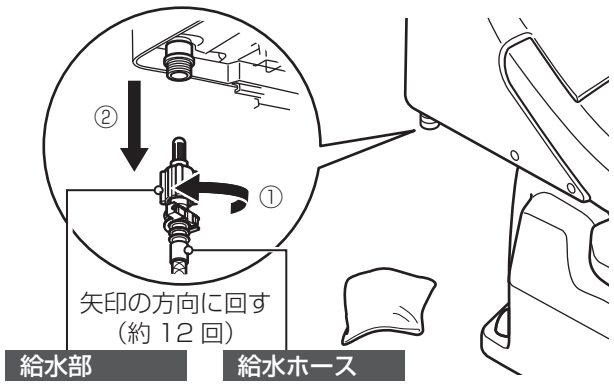
※詳しい操作方法は水抜栓の取扱説明書をご確認ください。

4 洗浄ハンドルを操作した状態で 5 秒以上保持し、ロータンク内の水を抜く

5 給水ホースから水を抜く

① 「ストレーナー」の下に布などを置く

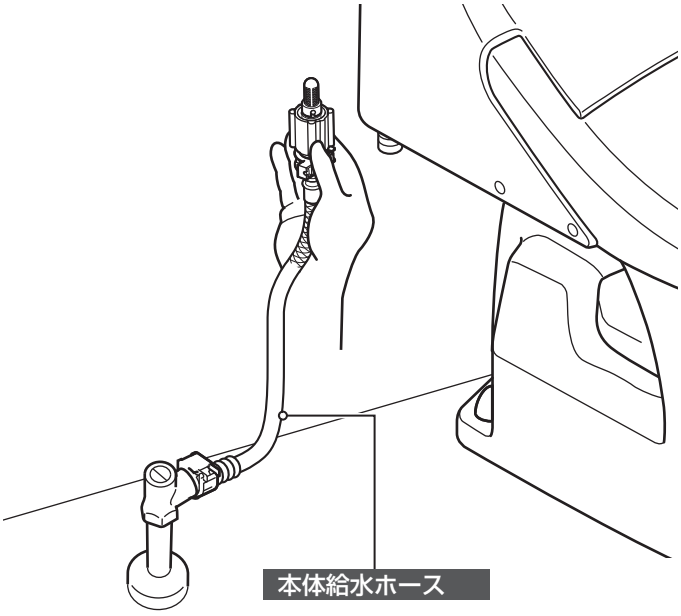
② ストレーナーを外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



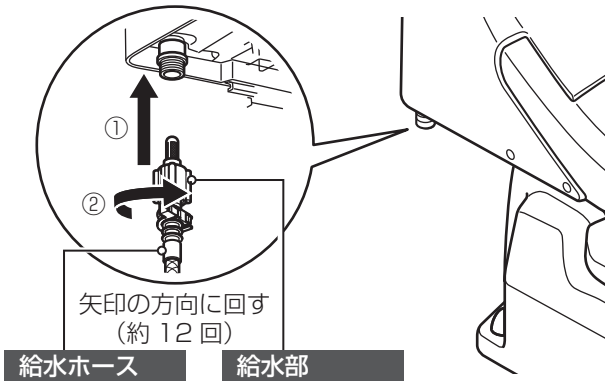
[注意]
●ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

③【ノズルそうじ】を押し、本体バルブ内の水を抜く

④ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜く



6 水抜き完了後、ストレーナーをしっかりと締め付ける



⚠注意

指示実行

●ストレーナーを外すときは、必ず水抜栓を操作する。

●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。

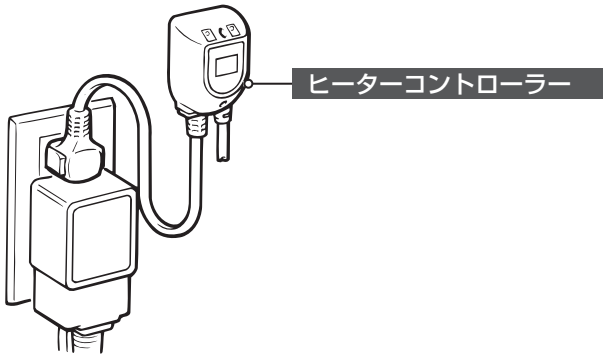
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。

※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

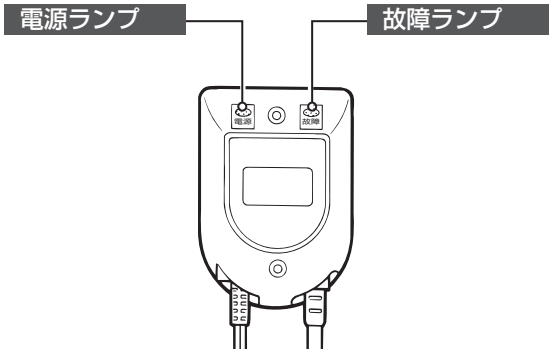
水抜き方式の凍結防止方法（つづき）

7 ヒーター付便器を暖める。
〈ヒーター付便器の場合〉

①「ヒーターコントローラー」の「電源プラグ」をコンセントに差し込む

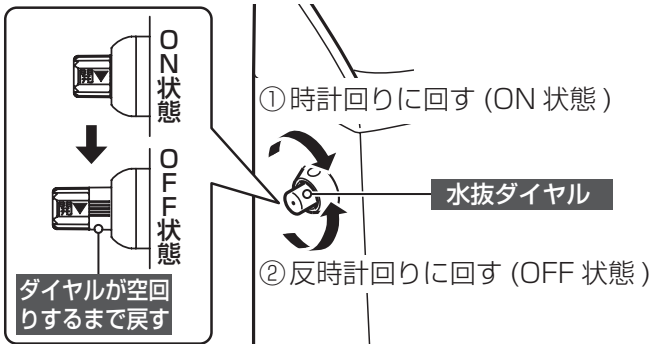


②「電源ランプ」が点灯、「故障ランプ」が消灯していることを確認する



8 水抜ダイヤルを時計回りに回して押し込み、反時計回りに空回りするまで回して戻す
〈水抜式の場合〉

※この操作により、ロータンク器具内の水がより抜けやすくなります。



■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 8 ページ)

■もし凍結してシャワーが出なくなったら
万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

[注意]
- ●給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
  ※給水ホースが破損する恐れがあります。
- ●凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。
- ●水抜式で止水栓付便器の場合、止水栓は必ず全開でご使用ください。
  ※凍結の恐れがあります。

長期間使用しないときは

長期間使用しない場合は、止水栓を閉め、電源を抜いてください。**（故障発生時に被害が大きくなる恐れがあります）**
また、以下の場合は下記の手順にしたがって、温水タンク及び給水ホースの水抜きを行ってください。
●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結する恐れがあります。）

水抜きのしかた

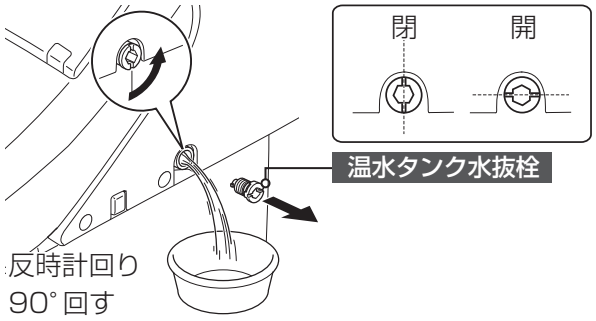
1「止水栓」を閉めて、給水を止める

2 洗浄ハンドルを操作した状態で5秒以上保持し、ロータンク内の水を抜く

3 電源プラグをコンセントから抜く

4 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く

※あらかじめ水受け（約 1L 以上入るもの）を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90˚回して外します。
※出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。

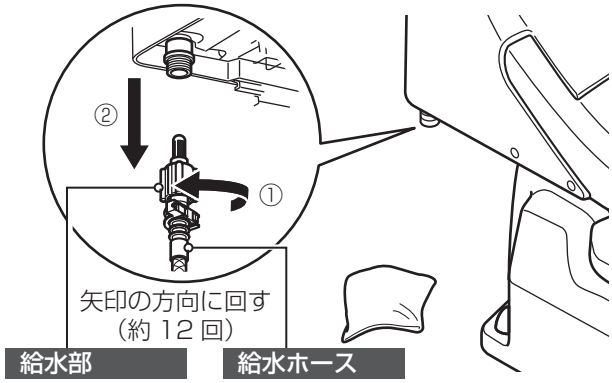


5 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける

※マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90˚回して確実に取り付けます。

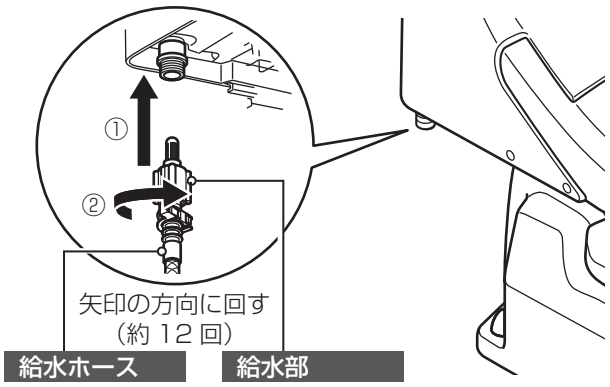
6 給水ホースから水を抜く

① 「ストレーナー」の下に布などを置く
② ストレーナーを外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



[注意]
●ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

③ 電源プラグをコンセントに差し込む
④ 【ノズルそうじ】を押し、本体バルブ内の水を抜く
⑤ 電源プラグをコンセントから抜く
⑥ 水抜き完了後、ストレーナーをしっかりと締め付ける



⚠注意

指示実行

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

8 止水栓部から水漏れしていないか確認する

■凍結の恐れがあるとき
●便器内の水を抜き、不凍液やバスタオルなどで排水口をふさいでください。
※不凍液はそのまま流さないでください。不凍液は回収し、廃棄処理してください。浄化槽への悪影響や、環境汚染の恐れがあります。
※排水口をふさぐ場合は、しっかりふさいでください。異臭や害虫が侵入する恐れがあります。
●配管内から水を抜く必要があります。水抜式便器をお使いの方は、上記の手順に加えて建物の水抜栓を操作して、配管から水を抜いてください。（☞ 24 ページ）水抜栓を操作した後は、止水栓を開いてください。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。（☞ 8 ページ）

お掃除・お手入れ

お手入れの効果を正しくあげるため、汚れや場所にあった洗剤、道具を使いましょう。
また、少しでも楽にお掃除・お手入れしたい方にはおすすめの便利グッズもあります。
ただし、使ってはいけない道具・洗剤もありますのでご注意ください。

お掃除道具

種　類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオル、着古したTシャツなどを適当なサイズに切ってお使いください。	便座・便フタ カバー類・便器部
スポンジ	小さく、できるだけ柔らかなもの。	ノズル先端部
トイレ用ブラシ	便器の内側掃除の必需品。 ※研磨材付きや金属製のブラシは陶器表面にキズを付ける恐れがあるので、避けてください。	便器部
ゴム手袋	手アレ防止に。水や洗剤が入らないように折り返して使いましょう。	−
歯ブラシ	隠れた部分や細かいところに大活躍。使い古しのものを。	便器吐水口

洗剤

種　類		使う場所
トイレ用中性洗剤	便器（陶器部）の黄ばみや黒ずみを落とします。 ※スタンプ式洗剤をご使用の場合、貼り位置によっては洗浄不良や飛沫が発生する恐れがあります。	便器部
研磨材なしの洗剤		

便器のお掃除には、次の洗剤・道具は使用しないでください。
- ●強いアルカリ性の洗剤または漂白剤
- ●研磨材入りの洗剤
- ●フッ素系洗剤（フッ化水素、フッ化アンモニウムを含む）
- ●撥水作用や表面コート作用などがある洗剤やお掃除道具※
- ●金属製や研磨材入りのブラシなど表面を傷つけるお掃除道具

※成分が陶器表面を覆ってしまい、防汚効果が十分発揮できなくなります。使用してしまった場合は食器用中性洗剤やメラミンスポンジで除去することで効果を復元できます。

※アクアセラミック仕様の場合、便器品番の先頭に「Y」が付いています。（例：YBC-XXXX）
ハイパーキラミック仕様の便器品番は「Y」はありません。（例：BC-XXXX）
アクアセラミックは親水性が高く、鉢面に付着した汚物が落ちやすいですが、お掃除が不要になるものではありません。また、陶器表面に汚れが残っていたり、便の状態によっては落ちづらい場合があります。定期的なお掃除をお願いします。

LIXIL のお掃除グッズ（☞ 56 ページ）

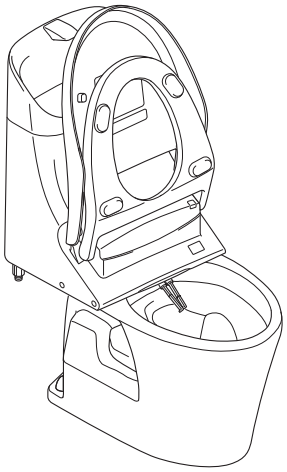
種　類		使う場所
トイレ用お掃除ティッシュ〈CWA-36-4SET〉	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。使用後、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除クリーナー〈CWA-20〉	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッと吹きかけふき取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使えます。	便座・便フタ カバー類・便器部
お掃除ブラシ〈CWA-48・CWA-48-A〉	便器のアクアセラミック表面にキズを付けません。便鉢の裏側まできれいにできます。 ※CWA-48-A はケースがつきません。	便器部

お掃除の場所と汚れの種類

便フタ・便座・カバー・リモコン	29 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

便座と便フタのすき間	30 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

本体と便器のすき間	31 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	



ノズルシャッター	33 ページ
水アカ・小水のシミ	

ノズル	34 ページ
水アカ・小水のシミ	

便器	32 ページ
カビ・バクテリア・尿石	

[注意]
●お掃除・お手入れのときは、【自動洗浄】を「切」にして行ってください。〈自動洗浄付の場合〉（☞ 16 ページ）
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れたりします。

⚠警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

⚠注意

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。
※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

□お掃除・お手入れ方法

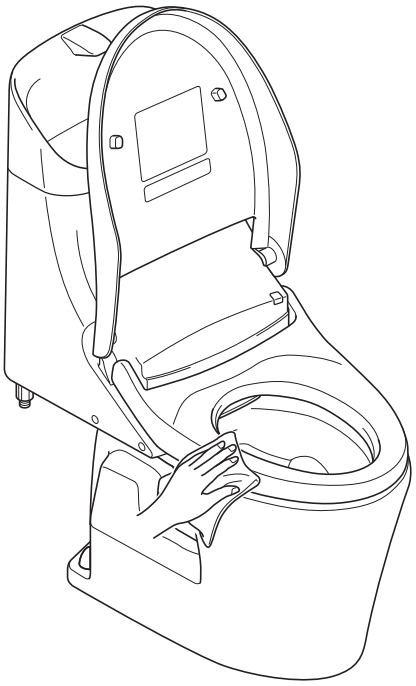
○便座・便フタのお掃除 …… 29
○便フタを外して掃除する …… 30
○本体を浮かせて掃除する …… 31
○手洗鉢・便器のお掃除 …… 32
○ノズルシャッターを清潔に …… 33
○ノズルのお掃除 …… 34
○ノズルの先端を取り替えたい …… 36
○化粧板の外しかた …… 37
○脱臭効果が弱くなったら …… 38
○給水時間が長くなったら／
　シャワーが弱くなったら …… 39
○リモコンの電池マークが点滅したら … 40

便座・便フタのお掃除

便座・便フタ・カバー類・リモコン（プラスチック部）のお掃除

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

● お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。（☞ 56 ページ）



水ぶきするのはなぜ？

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

使用できる洗剤は？

当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」をおすすめします。
市販の便座用洗剤も使用できますが、中には適さない商品もあります。
ご不明な点は、洗剤メーカーに確認してからご使用ください。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 56 ページ）をご覧ください。

[注意]
- 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
  ※キズが付く原因になります。
- リモコンのお掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ※シャワートイレが誤作動することがあります。

すき間もお掃除がしたい

お掃除リフトアップ付の場合、本体を浮かせて便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 31 ページ）
便フタを簡単に外せます。（☞ 30 ページ）

❖抗菌部位について
ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌プラスチックを、リモコン操作部のスイッチシートには抗菌シートを採用しています。

❖キレイ便座について
キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

❖ KILAMIC 抗菌商品について
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。したがって感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
  KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

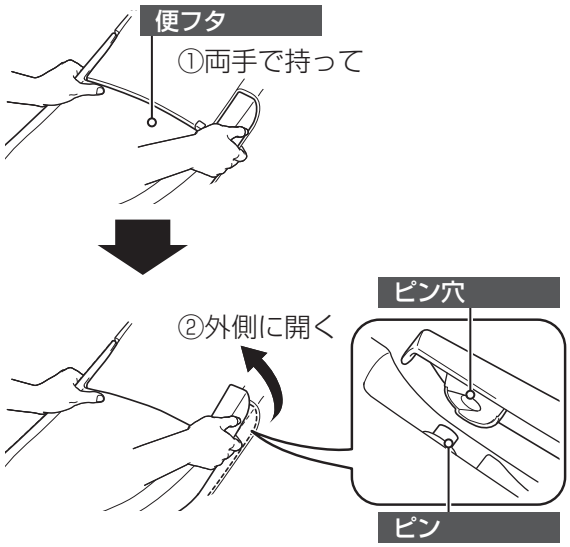
便フタを外して掃除する

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部を掃除するときや便フタを丸洗いするのに便利です。

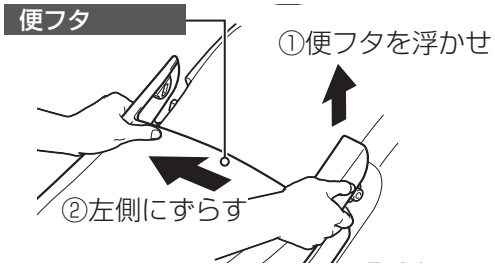
便フタの取外し

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 便フタを閉じた状態で両手で持ちながら、右側を外側に開くように上げて、本体右側のピンから便フタ右側のピン穴を外す



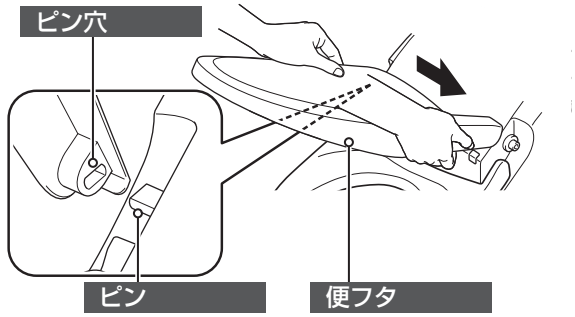
3 便フタを浮かせて左側にずらし、便フタを外す



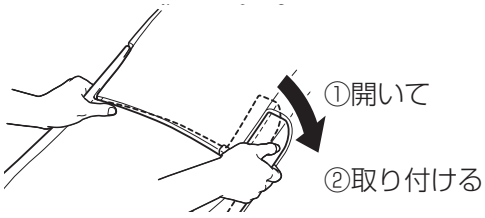
便フタの組付け

1 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込む

※本体のピンの角度に合わせて便フタを傾けて取り付けてください。



2 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴と本体右側のピンを合わせて、便フタを取り付ける



3 電源プラグをコンセントに差し込む

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 8 ページ)

[注意]
- ●便フタを外すときは必ず電源プラグを抜いてください。
  ※内部部品が破損する恐れがあります。
- ●便フタに無理な力を加えないでください。
  ※破損する恐れがあります。
- ●便フタを外した状態で便座を開かないでください。
  ※カバーや便座にキズが付いたり破損する恐れがあります。
- ●便フタを外したまま使用しないでください。

本体を浮かせて掃除する【お掃除リフトアップ】

本体（便座とともに）を浮かすことができますので、普段手の届かない本体と便器の間が掃除できます。
※この機能のついていない機種があります。11ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

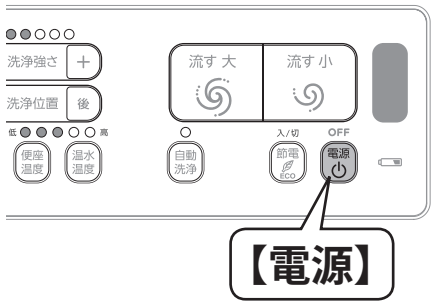
詳しくは動画でご覧いただけます。

本体の浮かせかた

1 手洗吐水口の水が止まっていることを確認する〈手洗付の場合〉

2【電源】を押して「切」にする

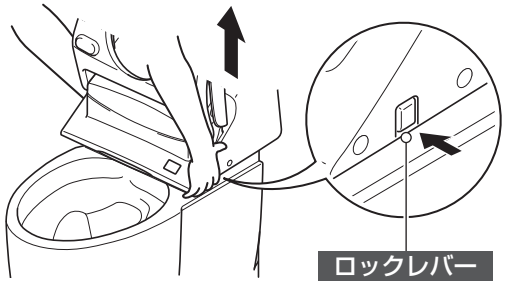
※本体表示部の「電源表示」（緑色）の消灯を確認してください。リモコンの電源OFFランプは、数秒点灯します。



3 便フタ・便座を開く

4 本体右側のリフトアップロックレバーを押しながら、本体が上に突き当たるまで静かに持ち上げる

※本体は約4cm持ち上がります。
※本体が水平に安定することを確認してください。



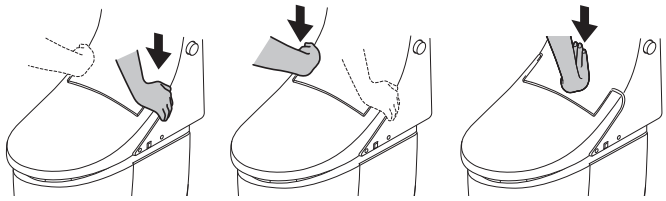
5 すき間の掃除をする

本体の戻しかた

1 便座・便フタをゆっくり閉じる

2 本体を下記の手順で左右片方ずつ真下に降ろす

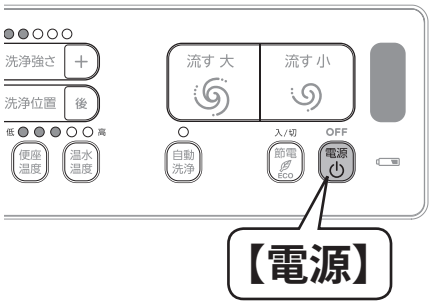
①本体を右側から押し下げます。　②本体の左側を押し下げます。　③本体の中央部を押し下げて固定します。



※洗浄ハンドルを持ちながら本体を戻すと、破損する恐れがあります。
※本体を押し下げる際に、ガタンと音がする場合がありますが故障ではありません。

3【電源】を押して「入」にする

※本体表示部の「電源表示」（緑色）の点灯を確認してください。リモコンの電源OFFランプ以外の表示ランプは、数秒点灯します。



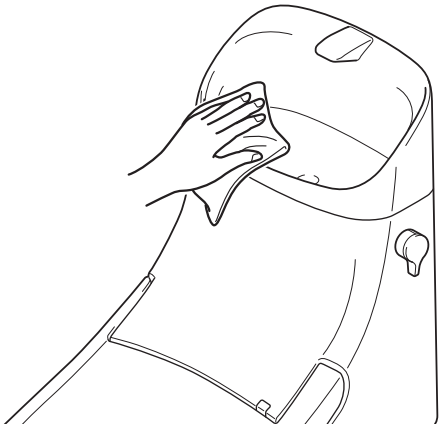
（参考）
●掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」（☞33ページ）をご覧ください。

[注意]
●無理に持ち上げたり、押さないでください。
※故障の原因となります。
●本体を浮かせたまま使用しないでください。
※故障の原因となります。
●手洗吐水口より水が出たまま、本体を浮かせないでください。〈手洗付の場合〉
※内部に水が浸入し、故障の原因となります。
●操作はゆっくり行ってください。
●無理な姿勢で持ち上げないでください。
●便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を戻してください。
※洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
●本体を上から押さえると降りてくる可能性があります。
●本体を大きくゆらさないように注意してください。
※吐水口から水が出る可能性があります。〈手洗付の場合〉
●便座・便フタを上からおさないようにしてください。
※シャワートイレ本体、陶器部の破損や転倒によるケガの原因になります。
●本体を降ろすときに、指を挟まないようにしてください。
※ケガをする恐れがあります。
●斜めに本体を降ろすとロックがかからない場合があります。
●洗浄ハンドルに手が触れないようにしてください。
※誤作動の原因になります。
●ロックレバーが元の位置まで入っていることを確認してください。

手洗鉢・便器のお掃除

手洗鉢のお掃除〈手洗付の場合〉

● 手洗鉢は、柔らかい布やスポンジで水ぶきをしてください。



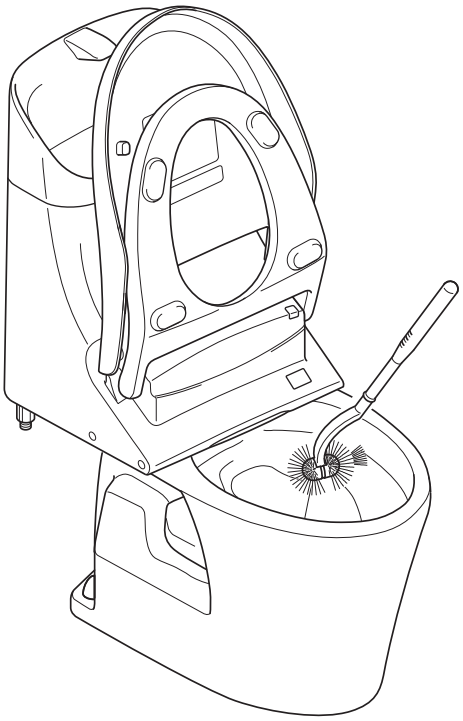
[注意]
- ●手洗鉢にトイレットペーパーやゴミなどを流さないでください。
  また、ぞうきんやモップなどを洗わないでください。
  ※漏水や止水不良の原因になります。
- ●固いスポンジなどでお手入れしないでください。
  ※キズつきの原因になります。
- ●強くゆすらないでください。
  ※手洗い水が出る場合があります。

便器（陶器部）のお掃除

※アクアセラミック仕様の場合、便器品番の先頭に「Y」が付いています。（例：YBC-XXXX）

● 柔らかいブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

● 当社純正の「お掃除ブラシ」（別売品）をおすすめします。（☞ 56 ページ）



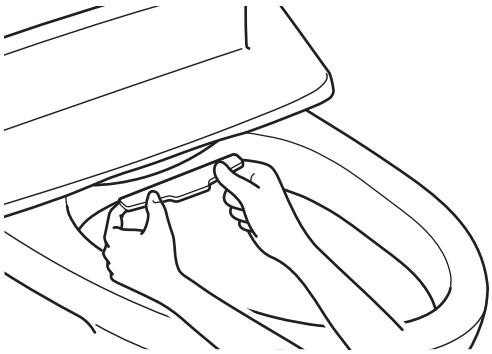
[注意]
- ●洗剤使用時の注意点は「安全上のご注意」をご覧ください。（☞ 3 ページ）
- ●使用可能な洗剤・お掃除道具は「お掃除・お手入れ方法」をご覧ください。（☞ 27 ページ）
- ●熱湯はお使いにならないでください。
  ※便器が破損することがあります。

すき間もお掃除がしたい

お掃除リフトアップ付の場合、本体を浮かせて便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 31 ページ）

ノズルシャッターを清潔に

● 柔らかい布で水ぶきしてください。



[注意]
- ●乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
- ●歯ブラシでこすらないでください。
  ※キズが付く原因になります。

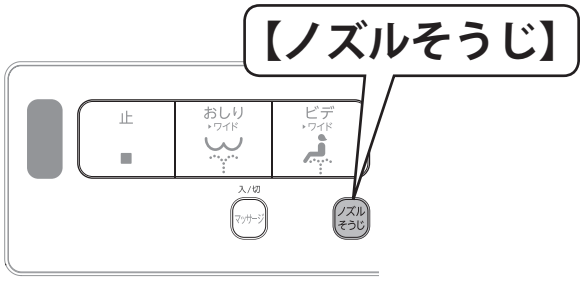
ノズルシャッターを取り外し、掃除することができます。

ノズルシャッターの取外し

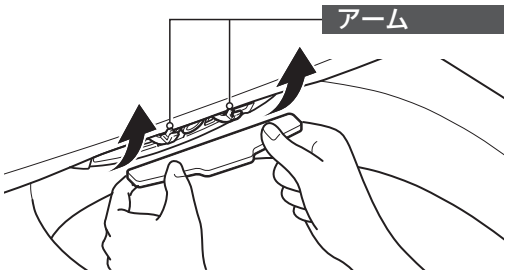
1【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉を「切」にする
※「切」にしないと、勝手に水が流れる場合があります。

2 便フタ・便座を開く

3【ノズルそうじ】を押し、ノズルシャッターを開く
※ノズル本体が少し前に出て、ノズルシャッターを押し上げます。このときノズルから約３秒間水が出ます。



4 ノズルシャッターを両手で手前に引っ張り、取り外す



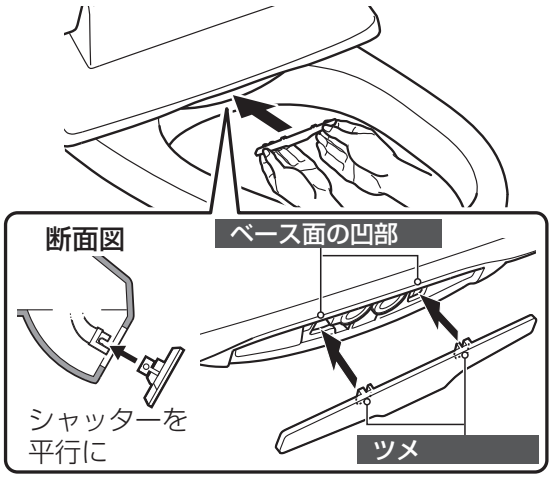
※取り外しにくい場合は、アームを押さえながら外してください。

5【止】を押し、前に出ているノズルを戻す

6 取り外したノズルシャッターを掃除する

ノズルシャッターの取付け

1 ノズルが前に出ていない状態で、ノズルシャッターのツメ（2 ヵ所）をベース面の凹部に強く押し込む
※ノズルが前に出ている場合は、【止】を押して戻します。



[注意]
- ●“カチッ”と音がするまで押し込んでください。
  また、シャッターが正しく取り付けられたことを確認してください。
- ●シャッターには、上下の向きがあり、決まった方向にしか取り付けできません。
- ●無理な力を加えないでください。
  ※破損する恐れがあります。

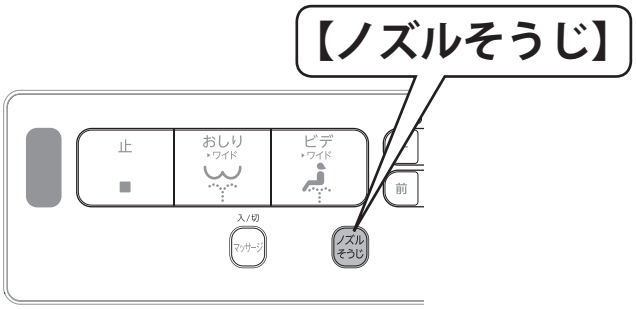
ノズルのお掃除

ノズルの掃除には、以下の方法があります。
●使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。**“リモコンノズル洗浄”**
●日頃の掃除時、ノズルを引き出し、しつこい汚れをスポンジなどで落とせます。

使用中（着座中）のノズル掃除

● 使用中（着座中）にノズルを洗いたい。（リモコンノズル洗浄）

1【ノズルそうじ】を押す
※ノズル本体が少し前に出て、約３秒間洗浄します。



❖オートクリーニング機能について
おしり洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する**オートクリーニング機能**が付いています。

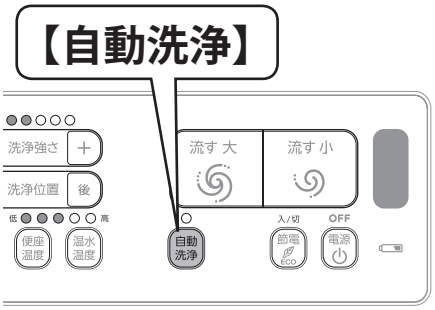
ノズルのお掃除

お手入れ時のノズル掃除

● お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。

1【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉を「切」にする

※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。



2 便フタ・便座を開く

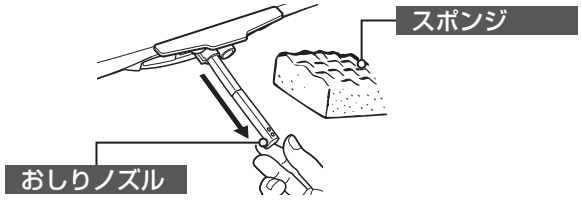
3【ノズルそうじ】を押し、ノズルシャッターを開く

※ノズル本体が少し前に出て、ノズルシャッターを押し上げます。このときノズルから約３秒間水が出ます。

4 ノズルを引き出す

※少し伸び出たノズルから、おしりノズル、またはビデノズルを手で引き出します。

5 スポンジなどで掃除する



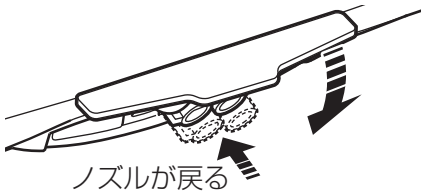
※約５分たつと、ノズルは自動で戻ります。
ノズルが戻った後、もう一度【ノズルそうじ】を押すと、ノズル本体が少し前に出て、ノズルシャッターを押し上げます。

(参考)

●掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」（☞ 33 ページ）をご覧ください。

6【止】を押す

※ノズルが戻ります。



[注意]

●ノズルに強い力をかけないでください。
※故障の原因になります。

●ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。
※故障の原因になります。

●歯ブラシでこすらないでください。
※キズが付く原因になります。

ノズルの先端を取り替えたい

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 56 ページ）をご覧ください。

ノズル先端の取替え

1【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉を「切」にする

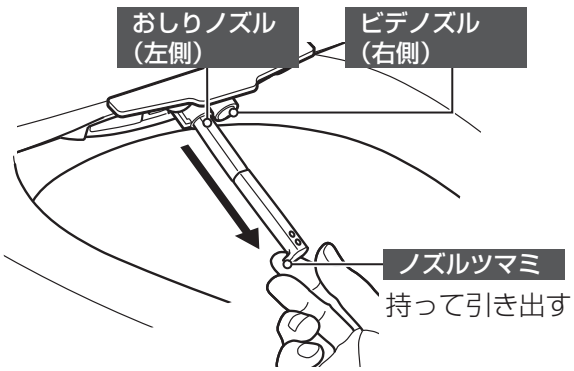
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

2 便フタ・便座を開く

3【ノズルそうじ】を押し、ノズルシャッターを開く

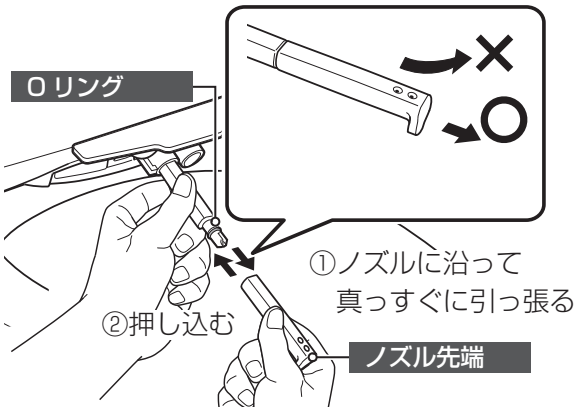
※ノズル本体が少し前に出て、ノズルシャッターを押し上げます。このときノズルから約３秒間水が出ます。

4 ノズルツマミを持って、ノズルを引き出す



5 引き出したノズル先端を真っすぐに引っ張り、取り外す

※ノズル先端を引っ張る方向に注意し、ノズルに沿って真っすぐに引っ張ってください。



※ノズルシャッターが閉じてしまった場合は、もう一度【ノズルそうじ】を押し、ノズルを出してください。

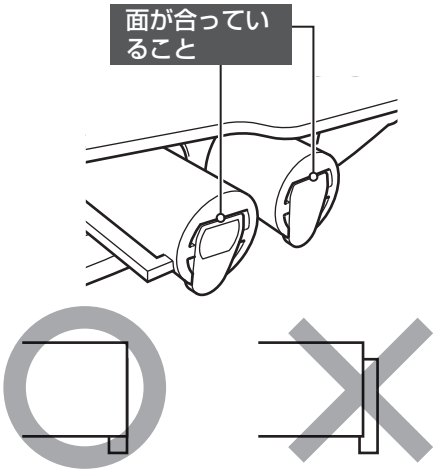
6 交換用のノズル先端を、ノズルに差し込む

※ノズルは、自動で本体内に戻る仕様になっています。ノズルが本体内に入ってしまった場合は、ノズル先端をそのまま押し込んで取り付けます。
※ノズル先端が、確実にはまっていることを確認してください。

［注意］
- ノズル先端を取り外す際は、ノズルツマミを持たないでください。
- 取り外す際、陶器部などで、手をぶつけないよう注意してください。
- ノズルは、おしり用とビデ用があります。お間違えのないよう注意してください。

- ノズル先端は、穴が開いている方が上になるように取り付けてください。
- O リングにキズを付けないよう注意してください。

7「結合部」を確認する

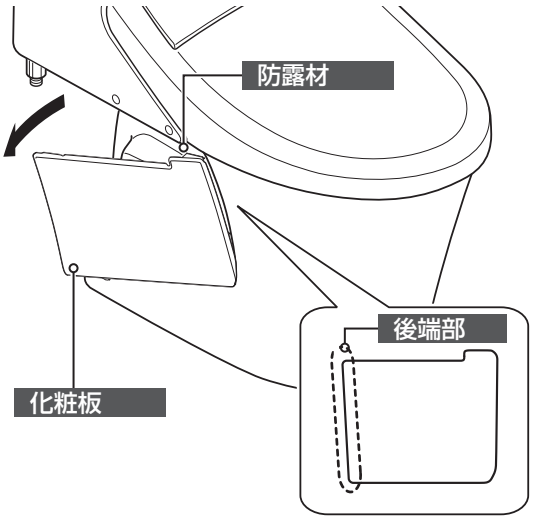


8【止】を押して、ノズルを戻す

化粧板の外しかた

化粧板の外しかた〈化粧板付の場合〉

1 化粧板の後端部を持ち、取り外します。
※反対側も同様に取り外してください。

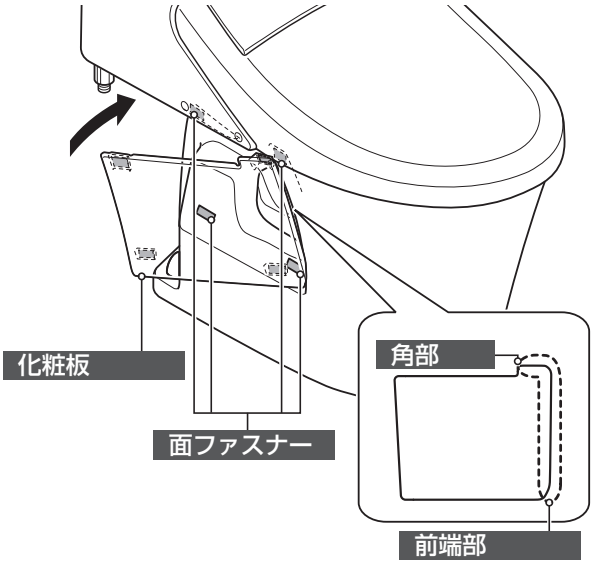


[注意]
●防露材は便器の結露防止のための部材なので取り外さないでください。

化粧板の取付けかた

1 化粧板の角部と前端面を、陶器に合わせ、前側２箇所の面ファスナーに取り付けます。

2 そのまま化粧板を後側２箇所の面ファスナーに取り付けます。最後にもう一度化粧板をおさえ、外れないことを確認します。
※反対側も同様に取り付けてください。



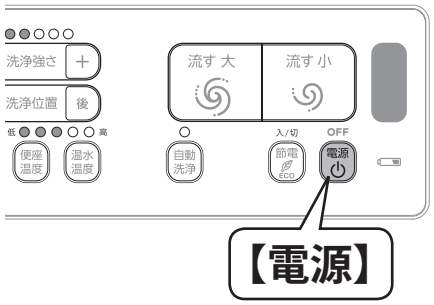
脱臭効果が弱くなったら

「脱臭フィルター」にホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。においが気になりだしたら、お手入れしてください。
※この機能のついていない機種があります。11 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

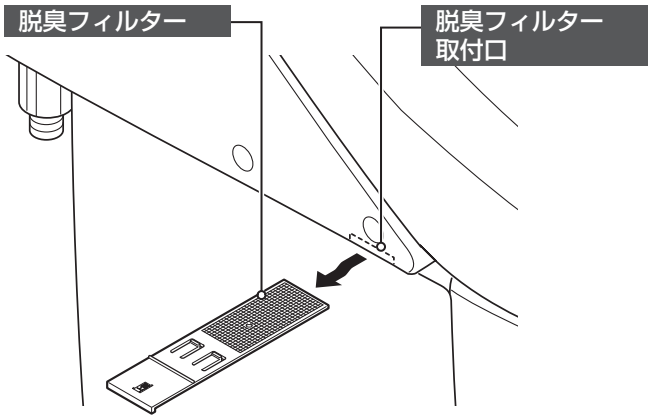
脱臭フィルターのお手入れのしかた

1【電源】を押して「切」にする

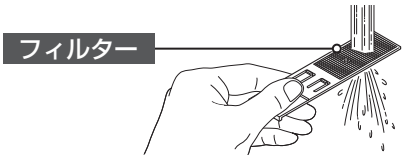
※本体表示部の「電源表示」（緑色）の消灯を確認してください。リモコンの電源 OFF ランプは、数秒点灯します。



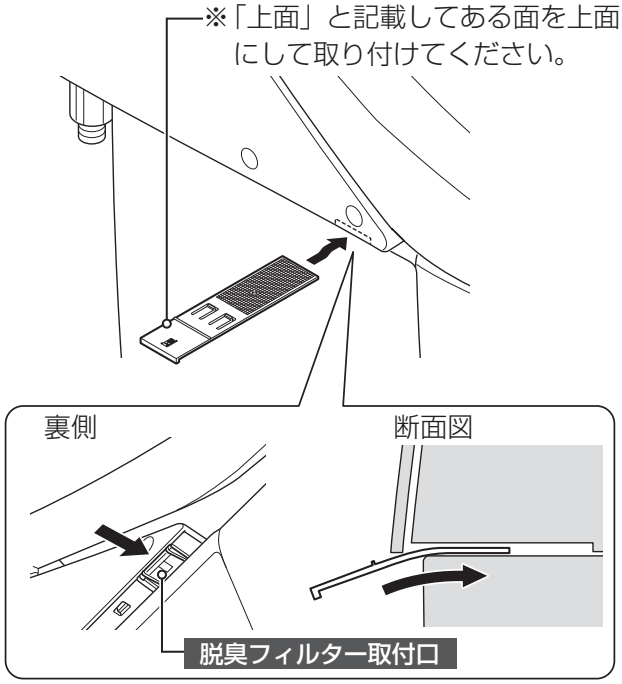
2 本体左側面の「脱臭フィルター」を引き出す



3「脱臭フィルター」を水洗いし、ホコリなどを取り除く



4「脱臭フィルター」を乾燥させ、取り付ける



5【電源】を押して「入」にする

※本体表示部の「電源表示」（緑色）の点灯を確認してください。リモコンの電源 OFF ランプ以外の表示ランプは、数秒点灯します。

❖脱臭フィルターのお手入れをしてもにおいが気になるときは

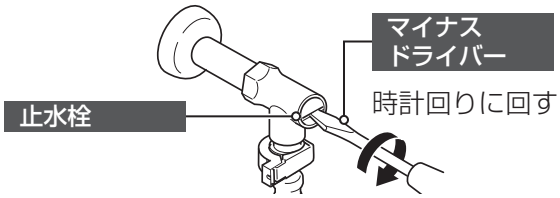
シャワートイレ内部ににおいを吸収する部品が入っています。
脱臭フィルターのお手入れをしてもにおいが気になるようでしたら、部品の交換を依頼してください。
（☞ 54 ページ）

給水時間が長くなったら / シャワーが弱くなったら

長期間使用して便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーのお掃除のしかた

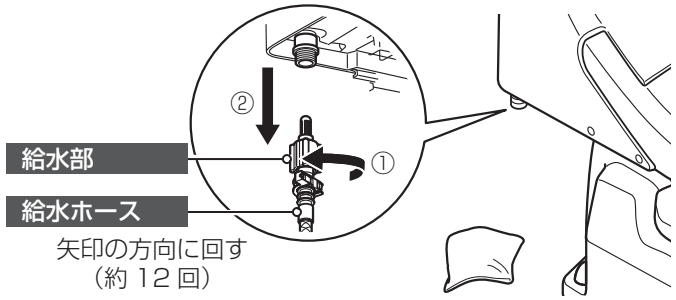
1「止水栓」を閉めて、給水を止める



2 流す「大」または本体の洗浄ハンドルを「大」の方へ操作する（☞ 16 ページ）

3 本体向かって左下にある「給水部」を回し、給水ホースごと取り外す

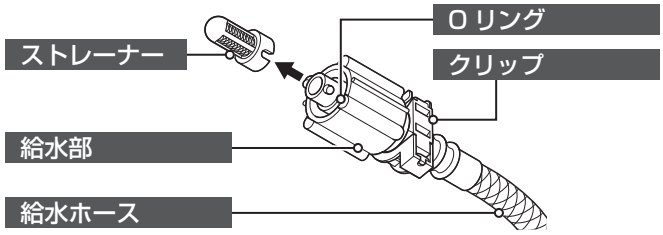
※ このときコップ半分ほどの水がこぼれますので、布などを下に置いてください。



[注意]
- 給水部を外す際に、給水ホースが折れないように注意してください。
- 給水部を外す際は、クリップを持たないでください。

4 給水ホース内の水を完全に抜く

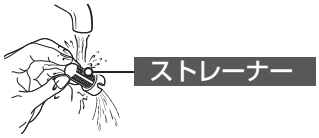
5「給水部」から「ストレーナー」を取り外す



6「ストレーナー」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く

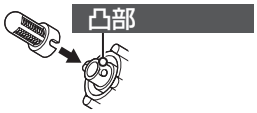
※ 流水または洗面器などに水を溜めて水洗いしてください。

※ 水洗いで取れないゴミは、歯ブラシなどを使い洗い落としてください。

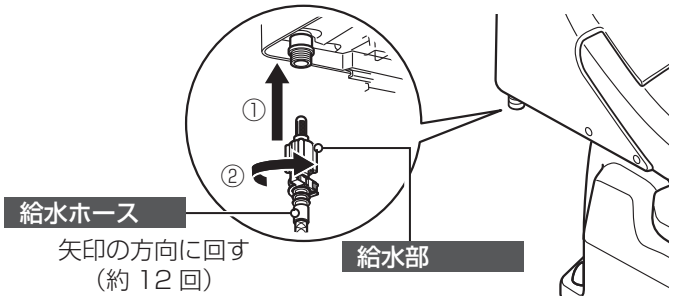


[注意]
- 針状のものでゴミを取らないでください。
- ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

7 ストレーナーを給水部の凸部に合わせて取り付ける

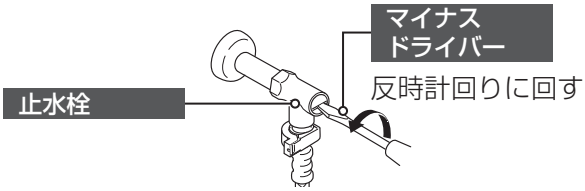


8「給水部」をしっかり締め付ける



[注意]
- 締付後、再度増締めをし、緩みがないことを確認してください。

9「止水栓」を元の位置まで開く



10 止水栓部から水漏れしていないか確認する

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 8 ページ）

⚠ 注意

指示実行

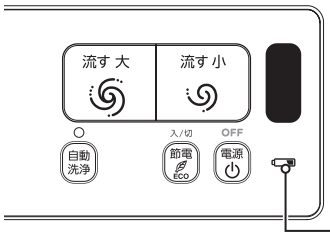
- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
  ※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。

リモコンの電池マークが点滅したら

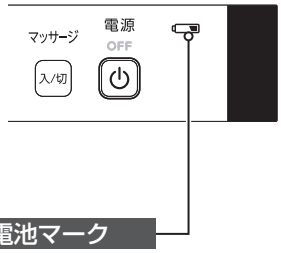
電池消耗により、「電池マーク」が点滅します。（☞ 20 ページ）

[注意]
- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコン表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。
- 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。

〈壁リモコン〉



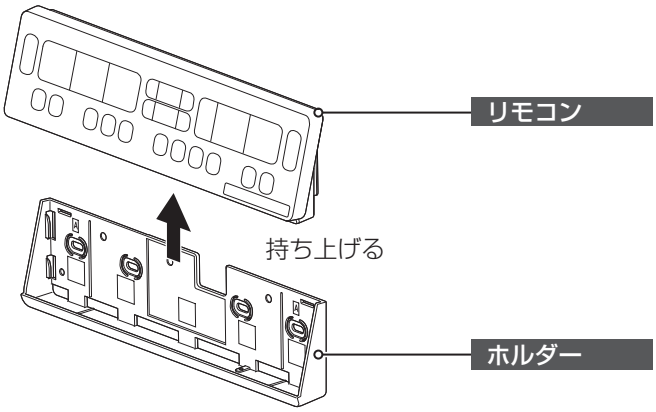
〈インテリアリモコン〉



リモコンの電池交換

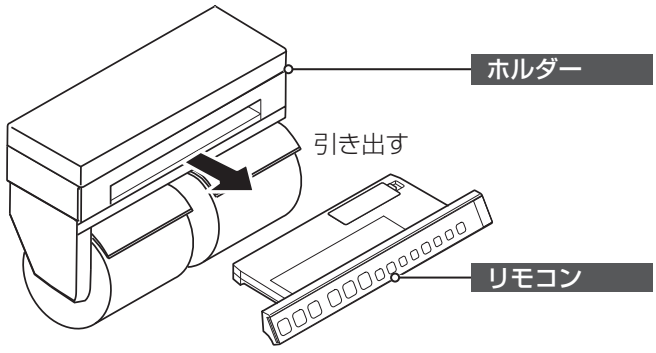
1「リモコン」を「ホルダー」から外す

〈壁リモコンの場合〉



[注意]
- リモコン本体をやや手前に傾けながら、ゆっくりと取付け・取外ししてください。
  ※壁に傷を付ける可能性があります。

〈インテリアリモコンの場合〉

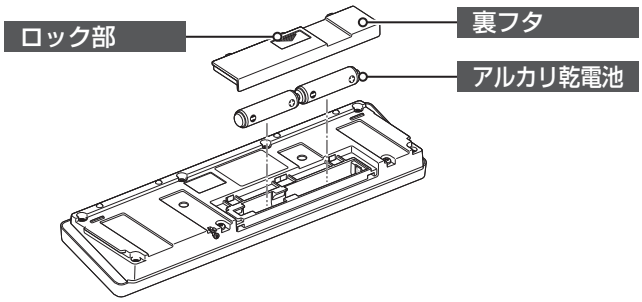


※途中で止まってしまった場合、リモコンを元に戻してから一気に引き出してください。

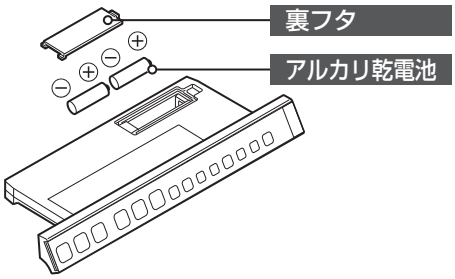
2「裏フタ」を外し、新しい「乾電池」（1.5V アルカリ単三形、2 本）に取り替える

※電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。
※裏フタが外しにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具にてロック部を解除して外してください。

〈壁リモコンの場合〉



〈インテリアリモコンの場合〉



3「裏フタ」を元通りにはめ、「リモコン」を「ホルダー」に差し込む

（参考）
- 電池マークは電池が消耗したときのみ点滅します。通常は表示されません。
- 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。
- 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。

修理を依頼する前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目を確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

全機能

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
すべての機能が動作しない（電源表示が点灯しない）	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。	―
	電源が「切」（電源表示消灯）になっていませんか。	【電源】を押して、本体表示部の電源表示を点灯させます。	8
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。 電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	8
	漏電していませんか。 （表示ランプが点灯している。）	**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	―
	100V 以外の電圧がかかっていませんか。	**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	―
リモコンのスイッチを押しても動作しない（電源表示は点灯している）	リモコンの電池が消耗していませんか。（電池マーク点滅＊）	新しい電池に交換します。	40
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。	40
	リモコンの送信部、または受信部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。	―
	リモコンの送信部、または受信部を体でさえぎっていませんか。	リモコンをホルダーから外し、リモコンの送信部を受信部に向けて【止】を押してください。 本体表示部の電源ランプが点滅した場合は、商品の異常ではありません。	―
	インバーター照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。 正常に動作した場合は、商品の異常ではありません。	―
	リモコンの受信部に太陽光が当たっていませんか。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	―
	リモコンのスイッチを押すとリモコンの「OFF」ランプが点灯しませんか。	【電源】を押して、リモコン電源を「ON」にします。	―

＊：リモコンが受信部と反対側の壁に設置してある場合、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり洗浄・ビデ洗浄

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。	8
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	39
	水道圧が低くないですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。 ※水道圧が低い場合、洗浄強さが最弱ではシャワーが出ないことがあります。	14
	着座センサーが検知していますか。	便座に座ってください。	20
	温水タンクが満水になっていますか。	試運転を行います。	10
	ロータンクへ給水中ではありませんか。	故障ではありません。便器洗浄を優先しています。便器洗浄終了後、再度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。	14
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	【温水温度】を押し、適当な温度に調節します。	10
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。	―
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	17
シャワーが弱い	ロータンクへ給水中ではありませんか。	故障ではありません。便器洗浄を優先しています。便器洗浄終了後、再度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。	14
	洗浄強さが弱になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。洗浄強さを一番強くしてもまだ弱いと感じる場合、【おしり】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押すと、洗浄強さをさらに 1 段階強くすることができます。ただし、お湯切れが早くなるので注意してください。	14
ノズルシャッターが外れている（グラついている）	掃除中にブラシなどで引っ掛けて落としていませんか。	ノズルシャッターを正しく取り付けます。	33
以前使用していた機種のシャワーと異なる	他機種からの買い換えの場合、製品の構造が異なるため、交換前のものに比べて以下のような場合があります。 ・シャワーが出るまでの時間が長い ・シャワーがあたる位置に違いが感じられる ・シャワーが強く感じられる、または弱く感じられる そのような場合は製品の特性であり、故障ではありません。		―

修理を依頼する前に

暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座が暖かくない	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	便座温度を適当な温度に調節します。	10
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	17
	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合があります。1 時間以上検知し続けると暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座を掃除してください。	29
	省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。 トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。		
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。	18
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。	―
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触れると冷たく感じることがあります。製品の特性であり、故障ではありません。		21

脱臭〈脱臭付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合がありあます。便座を掃除してください。	―
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。	18
	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合があります。2 時間以上検知し続けると脱臭ファンが自動的に「切」の状態になります。便座を掃除したり、便座から一度立ち上がり、座り直してください。	―
	2 時間以上便座に座っていませんか。		
脱臭効果が弱くなった（においが気になる）	脱臭フィルターにホコリなどが付着していませんか。	脱臭フィルターを掃除します。	38
	長期間使用していませんか。	シャワートイレ内部ににおいを吸収する部品が入っています。部品の交換を依頼してください。	54

便器洗浄

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
自動で便器洗浄しない	〈自動便器洗浄付の場合〉 【自動洗浄】が「切」になっていませんか。	【自動洗浄】を「入」にします。	16
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。	止水栓を全開にします。	8
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	39
	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用された場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。	16
		1 度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。	6
【自動洗浄】が「入」または、リモコンの【流す：大】【流す：小】でも便器洗浄しない	〈自動便器洗浄付の場合〉 一度、手動で便器洗浄を行ってから、自動便器洗浄またはリモコンスイッチでの洗浄を行ってください。		16
汚物が詰まる	トイレットペーパーをたくさん使用していませんか。	止水栓を閉めてから詰まりを解除してください。 ※ 意図せず自動洗浄を行い、便鉢から水があふれる恐れがあります。	―
勝手に洗浄する	〈DT-BA2＊3 型の場合〉 間欠流動が「入」になっていませんか。	間欠流動を解除します。	23
便器内に水が流れ続ける（水が止まらない）	〈流動式の場合〉 流動ダイヤルが開いていませんか。	流動ダイヤルを反時計回りに回します。	23
	〈水抜式の場合〉 水抜ダイヤルが開いていませんか。	水抜ダイヤルを反時計回りに回します。	25
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。 大洗浄と小洗浄では約 1L 異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大きな違いはありません。そのままご使用ください。		―
タンク内から「ガシャン」と音がする	故障ではありません。 ハンドルをもとの位置に戻す際に発生する音です。		―

お掃除リフトアップ〈お掃除リフトアップ付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
リフトアップ下降時に本体が降りきらない	本体と便器の間に異物が入っていませんか。	異物を取り除いてください。	ー

鉢内スプレー

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
鉢内スプレーが動作しない	鉢内スプレーを「切」にしていませんか。	鉢内スプレーを「入」にします。	13
	便座から立ち上がった直後ではありませんか。	鉢内スプレーは、立ち上がってから約 80 秒間は噴出しません。便鉢内が湿った状態であれば鉢内スプレーの効果は残っていますので、そのままご使用ください。	

便器（陶器部）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便器が詰まった	万一詰まった場合には、市販のトイレ用吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。 ※中型（φ 130mm 程度）が最適です。 ※止水栓を閉めてから詰まりを取り除いてください。自動洗浄〈自動便器洗浄付の場合〉で意図せずに水が流れ、便鉢から水があふれる恐れがあります。		5
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用された場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。	16
		1 度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。	6
小便がはね返る	洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。便器奥側をねらうよりも、水面の中央をねらったほうが小便の飛散を軽減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便の飛散は軽減できます。着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。		20
床がぬれている（便器表面や止水栓がぬれている）	水温と室温の差が大きく、結露が発生し水滴が垂れた可能性があります。	換気扇や、窓を開けると結露を軽減できます。	21
		別売品の結露防止カバー（品番：CWA-106）をご使用ください。	56

便器（陶器部）（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
床がぬれている（便器表面や止水栓はぬれていない）	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	床をふいてしばらく様子をみてください。それでも床がぬれている場合は、**コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	ー
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。 汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が２秒以上続く場合は、通気管などを設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。	ー
便器の洗浄音がうるさい	故障ではありません。便器の機種によって洗浄方式が異なり、一般的にサイフォン現象が発生する便器は他の洗浄方式よりも大きな洗浄音がします。		ー
便器洗浄後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。 便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。		ー
便器洗浄後にロータンク内から「ゴトッ」という音がする。	故障ではありません。 ロータンク内のフロート弁が閉じる際に発生する音です。		ー
便器の水面の大きさが小さい	サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。		ー
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。		ー
用便時に水がはね返る（おつり）	便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	着座位置をずらすか、あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただけば軽減できます。	ー
便器（陶器）に黒色やピンク色の汚れがある	空気中のカビやバクテリアが、便器に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。カビやバクテリアは水中や空気中に分布しております。	定期的に清掃残りがないようにお掃除が必要です。お掃除不足やお掃除が出来ていない部分には汚れや水アカが堆積し、黒カビ（黒い輪ジミ）や酵母菌（ピンク汚れ）が繁殖することがあります。 汚れは付着しているだけですので、お掃除で除去可能です。中性洗剤（研磨剤なし）を使用して掃除してください。漂白剤を使用すると除菌効果がありますが、強いアルカリ性の漂白剤は陶器表面を傷つけるため使用しないでください。	ー

便器（陶器部）（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便器洗浄時に、便器鉢内に黒い異物が流れてくる	使用環境等の要因でタンク内に繁殖したカビがはがれ落ちて流れたものです。	トイレ内が多湿にならないよう換気してください。 タンク内の清掃は、LIXIL 修理受付センターへご依頼ください。	54
便器（陶器）の中に黒い粗状の付着物ができる	給水管のサビが洗浄時に流れて便器に付着したものです。	市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、こすり洗いをして除去してください。 それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1 時間程度付着した部分にあてて放置した後、布で拭き取ってください。 その後、中性洗剤で洗い流してください。 ※ 洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。また、継続的な使用は控えてください。	ー
便器の中に、赤いサビの付着物がある			ー
便器（陶器）を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）	便器と金属が接触すると、便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがあります。 キズではなく便器表面に付いている汚れと同じです。		ー
子供の便が付着して落ちない	幼児や児童などの身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。		ー
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは 1 度の洗浄では流しきれない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。	6
吐水口の奥に水が溜まる	故障ではありません。 構造上、目視できる場所に水が溜まることがあります。		ー
便器（陶器）にジェル状の洗浄剤をつけたら、洗浄時の水がはねたり流れが悪くなった。	水の流れが正常な状態から変わってしまっているためです。	ジェル状の洗浄剤を取り除いてください。	ー
溜水面が低下する	故障ではありません。 排水管の条件によって負圧が発生し、鉢内の水が引き込まれてしまうためです。	工事された業者さまへご相談ください。	ー
便器底面に照明の反射光が映る	故障ではありません。照明が便器に反射し、底面に模様のようなものが映ることがあります。照明器具を消してご確認ください。		ー

その他

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便器下部、止水栓下部に水滴が付いている	湿度が高く結露した	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	―
		別売品の結露防止カバー（品番：CWA-106）をご使用ください。	56
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	―
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか	止水栓を十分開いてください。	8
	ストレーナーが汚れていませんか	ストレーナーを掃除します。	39
本体から゛ググッ〃と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●シャワーを止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ問題ありません。		―
使用していないときに本体からファンが回っている音がする。	脱臭機能付の場合、脱臭機能が動作している可能性があります。機能の状態を確認してください。 脱臭ファンは脱座後、1 分間動作します。		13
流動ダイヤルの操作時に本体から“ピー”または“ギュッ”と音がする	故障ではありません。 流動ダイヤルが半開きになっていたり、ダイヤル操作をゆっくり行うと、音がなることがあります。	流動ダイヤルは必ず、流動状態では全開、流動ではない状態では確実に閉めてご使用ください。	23
電源表示が点滅している	温水・便座・洗浄モーターのいずれかの機能に不具合が生じている。	【電源】を「切」にしても点滅している場合は、**故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	54
点検表示が点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。	51
便座裏側にある足が便器についていない	故障ではありません。 便座が上下する構造のため、便座の足と便器の間にすき間があります。 便座前足の片側のみが便器につく設計になっていますので、そのままご使用ください。		―

その他（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワートイレ本体と陶器のすき間が空いている	故障ではありません。 焼きものならではの個体差により、すき間が空いて見える場合があります。そのままご使用ください。		ー
漏水している	ストレーナーが緩んでいませんか。	ストレーナーを締めます。	39
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除します。	39
	温水タンク水抜栓が緩んでいませんか	温水タンク水抜栓を締めます。	26
	湿度が高く結露していませんか。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	ー
便フタ・便座を開くと本体がガタつく	〈リフトアップ付の場合〉 故障ではありません。 リフトアップ付の場合はリフトアップの動作のためにスキマを持たせた設計になっていますので、便フタ・便座を開くと本体が動きます。そのままご使用ください。		ー
手洗い水が少ない（手洗い付の場合）	止水栓が十分開いていますか。	止水栓を全開にしてください。	8
	ストレーナーが詰まっていませんか。	ストレーナーの掃除を行ってください。	39
手洗い水が出るのが遅い	故障ではありません。	構造上、数秒かかる場合があります。	ー
タンクをゆらすと手洗い水が流れる	故障ではありません。	タンクに強い衝撃を与えないように注意してご使用ください。	ー
お買い上げ時の設定に戻したいとき	《便利な使い方》などで変更した機能を全てお買い上げ時の設定に戻します。	【節電】と洗浄位置【前】を同じタイミングで 2 秒以上押します。	19

安全・安心にお使いいただくために

製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

⚠ 警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。

(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性2人、女性2人）において、大便:1回 / 日･人、小便男性:4回 / 日･人、小便女性:4回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

❖経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

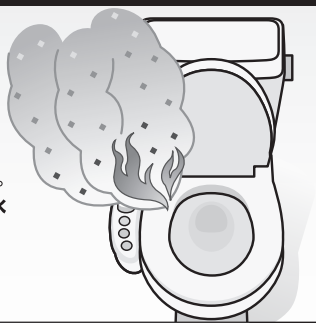
重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、**定期的な点検（有料）**をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。
販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。



故障したままで使わないでください

火災や感電、室内漏水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

次のような症状は、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

- □ 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある
- □ 便座コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている
- □ 便座にひびや割れがある
- □ 製品から水漏れしている（内部の電子・電気部品が被水）
- □ 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている（内部の電子・電気部品が被水）
- □ 電源コードが熱くなっている
- □ 電源プラグの差込部が発熱・変色している
- □ 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある

発行元：一般社団法人 日本レストルーム工業会　http://www.sanitary-net.com/　トイレナビ　検索　詳細はこちらをご覧ください

経済産業省　一般社団法人 リビングアメニティ協会

安全・安心にお使いいただくために

1. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

■ 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

●**負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、** **取付けの日から６年後です。**

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。

■ 摩耗・劣化する部品の点検

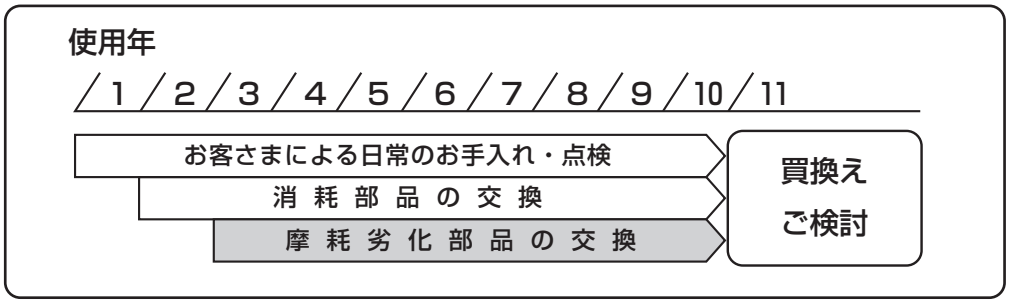
●**部品が摩耗・劣化すると水漏れなどの原因になりますので交換が必要です。**

点検の目安は、 **取付けの日から３年後です。**

●**摩耗・劣化する部品の例**

例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、脱臭ファンなど

〈定期的な点検・部品交換の目安〉



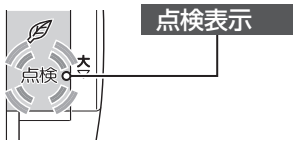
■ 温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用される場合

■ 長期間のご使用により点検ランプが点灯した場合（☞本ページ）

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約 10 年経過後に、点検表示が点灯します。
この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。



当社では「おまかせ点検（有料）」をご用意しております。
この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。

※お客さまの安心・安全を目的とした表示のため、お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。LIXIL トータルサービスのサービスマンによる「おまかせ点検（有料）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。

※詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-179-400）

温水洗浄便座は電気製品です。長期間のご使用による経年劣化や、故障したままのご使用は事故に至る恐れがあります。
故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身で行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
故障を発見した場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願いいたします。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合　次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は当社おすすめの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（☞ 41 ページ以降）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタつき
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠警告

分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※ 感電・火災・室内浸水の恐れがあります。

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

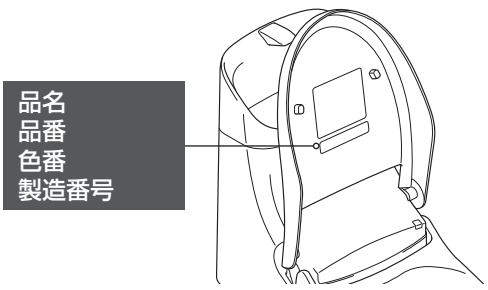
■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏または製品本体に貼ってある表示をご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってある表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後、便器部が 15 年、それ以外（シャワートイレ機能部）は 12 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問い合せは

商品のお問い合せ

LIXIL お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

※上記番号がご利用いただけない場合は、下記をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

【受付時間】 平日 9:00 ～ 18:00
土・日・祝日 9:00 ～ 17:00
※ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

6. 商品についての修理・定期点検のご依頼は

修理・点検のご依頼

製品品番がご不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センターへ

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

【受付時間】 9:00 ～ 19:00
（365 日受付）

7. 延長保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、リクシルオーナーズクラブへの会員登録をされますと無料でさらに延長されます。
Web からご登録いただくか、同梱の「オーナーズクラブ会員登録 兼 長期保証サービスお申込みハガキ」に必要事項を記入し、郵送してください。
※詳しくはご購入時にお渡しの「リクシルオーナーズクラブご登録（所有者登録）のお願い」をご覧ください。
※非住宅でご使用の場合は、Web からのご登録のみとなり、保証期間は 1 年の延長となります。

8. 登録手順

■ Web の場合

「リクシルオーナーズクラブウェブサイト」からご登録をお願いします。
シャワートイレ以外の製品を含め、複数の LIXIL 製品の保証延長を一度にご登録いただけます。
ご登録いただきました会員さま専用のマイページをご用意いたします。お掃除がラクになるお手入れ方法など心地良い暮らしのヒントになる情報をお知らせしてまいります。

1. あらかじめ製品の本体に表示しています製品情報（品番・製造番号）をご確認ください。
2. スマートフォンやパソコンから以下のサイトへアクセスし、手順に従ってご登録ください。
   https://lixil.to/loccw01
   ※ご登録にはメールアドレスが必要になります。
3. 保証書に製造番号、品名・品番をご記入ください。
   ※製造番号・品名・品番は便フタまたは製品本体の表示をご覧ください。
   （取扱説明書のアフターサービスを参照ください。）
4. 登録完了後、「オーナーズクラブマイページ」から登録製品および延長保証書をご確認ください。

■ ハガキの場合

同封のハガキにてご登録をお願いします。
※非住宅でご使用のお客さまは Web のみのご登録となります。

1. オーナーズクラブ会員登録ハガキに必要事項をご記入ください。
   ※記入もれがありますと、登録できない場合があります。フリガナも必ずご記入ください。
   ※取付日は必ずご記入ください。
   ※電話番号は延長保証書が宛先不明で返送された際の確認などに必要です。必ずご記入ください。
2. 保証書に製造番号、品名・品番をご記入ください。また、ハガキ投函後にハガキご郵送日をご記入ください。
   ※製造番号・品名・品番は便フタまたは製品本体の表示をご覧ください。
   （取扱説明書のアフターサービスを参照ください。）
3. 登録完了後に延長保証書をご登録いただいたご住所にお送りいたします。
   当社から 2 ヶ月を目途に郵送させていただきます。届きましたら、この書面とあわせて大切に保管してください。お手元に届かないときは、申込みが受理されていない可能性があります。お客さま保守センターにお問い合わせください。

所有者登録・延長保証のお問い合せは、
お客さま保守センターまで

受付時間 / 平日 10：00 ～ 17：00 ※土日祝・夏期・年末年始の休みは受け付けておりません。

TEL 0120-179-473

9. 個人情報のお取扱いについて

ご登録いただいたお客さまの情報は、次の目的に利用させていただきます。

- お客さまに対してダイレクトメール、電子メール等による情報（製品安全に関する大切なお知らせ、当社商品・サービスに関わる情報など）をご提供するため
- リクシルオーナーズクラブの特典やキャンペーン等で当選したプレゼントをお客さまにお届けするため
- 商品やサービスについてお客さまの利用状況や満足度を調査するため

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページ「プライバシーポリシー」をご覧ください。

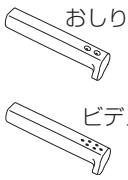
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

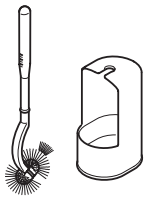
■ おしりノズル先端（品番：CWA-244A）
■ ビデノズル先端（品番：CWA-245A）

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。（☞ 36 ページ）



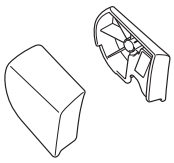
■ お掃除ブラシ（品番：CWA-48、CWA-48-A）

便器のアクアセラミック表面にキズを付けないブラシです。便鉢の裏まできれいに洗い落とせます。
（☞ 32 ページ）
※CWA-48-A はケースが付きません。



■ 便座ストッパー（品番：CWA-273）

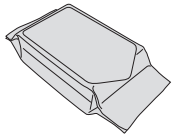
便フタを外してご使用する場合にご購入ください。



[注意]
●便座ストッパーをご使用の際、スーパー節電機能、鉢内除菌機能およびフルオート便座機能は使用できませんので、ご了承願います。

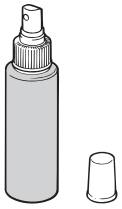
■ トイレ用お掃除ティッシュ
（4 個セット　品番：CWA-36-4SET）
（12 個セット　品番：CWA-36-12SET）

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
（☞ 29 ページ）



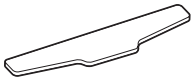
■ シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
（☞ 29 ページ）



■ ノズルシャッター（品番：CWA-246）

汚れが気になるときに交換できます。
ノズルまわりをいつも清潔に保てます。
（☞ 33 ページ）



■ 結露防止カバー（品番：CWA-106）

止水栓の結露を抑え、
カビ・汚れを防ぎます。

別売品の購入方法

■ 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

■ 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。ご注文の商品によって異なりますが、ご注文確認後 7 日～ 10 日以内で発送させていただきます（但し、夏季休暇、年末年始、ゴールデンウイークを除きます）。
お支払方法は代引きでのお支払い（代金引換決済）のみとなります（振込み、クレジット支払いなどは不可となります）。
その他配送料金などの詳細は、下記のフリーダイヤルもしくはホームページにてご確認ください。

LIXIL 水まわり部品公式通販サイト
LIXIL PARTS SHOP
Web リクシル 水まわり部品　検索
http://parts-shop.lixil.co.jp/

※インターネットではお取扱いしていない商品もございます。
部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL パーツショップ水まわり部品販売窓口
TEL 0120-126-015
受付時間　平日　9:00 ～ 17:00
（土日祝日・ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み）

仕様

グレード			BA3G	BA3	BA2G	BA2	BA1
			フルオート便器洗浄・脱臭		脱臭		ー
定格電源			AC100V 50/60Hz				
定格消費電力			300W				
省エネ区分			貯湯式				
年間消費電力量※1			176kWh/ 年（節電機能切時：246kWh/ 年）				
使用水道圧範囲	最低必要圧力		0.06MPa（流動圧）				
	最高水圧		0.75MPa（静水圧）				
使用温度範囲			0℃～ 40℃				
商品寸法			幅 391mm ×奥行 754mm ×高さ 946mm（手洗付）、高さ 857mm（手洗なし）				
商品質量			約 35kg（機能部：約 9kg、便器部：約 26kg）				
電源コード			有効長さ 1.0m（アースコード付）				
便器部	洗浄水量		大洗浄 5L、小洗浄 3.8L（フロート弁調整時：大洗浄 8L、小洗浄 6L）				
	給水方式		水道直結式				
	便器洗浄方式		床排水：サイホン式 床上排水：ネオボルテックス式				
	サイズ		大型				
	凍結防止ヒーター付便器方式	流動方式	流動水量：60L/h				
		ヒーター容量	27W				
		安全装置	温度ヒューズ				
		電源コード長さ	1.5m				
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式				
		給湯方式（タンク容量）	貯湯式（0.71L）				
		おしり吐水量	0.27 ～ 0.57L/ 分（6 段階調節）供給水圧 0.2MPa のとき				
		ビデ吐水量	0.45 ～ 0.65L/ 分（6 段階調節）供給水圧 0.2MPa のとき				
		温水温度	水温・約 32℃～ 40℃（計 6 段階切替） スーパー節電設置時：水温・約 30℃～ 36℃ ワンタッチ節電（8h）設定時：水温				
		ヒーター容量	250W				
		安全装置	温度ヒューズ・高温感知回路・空焚防止フロートスイッチ				
	暖房便座	表面温度	室温・約 28℃～ 36℃（計 6 段階切替） スーパー節電設定時：室温・約 27℃～ 30℃ ワンタッチ節電（8h）設定時：室温				
		ヒーター容量	48W				
		安全装置	温度ヒューズ				
	脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式				ー
		脱臭能力	パワー脱臭時：0.11m³/ 分 フルパワー脱臭時：0.14m³/ 分				ー
リモコン	壁リモコン	寸法	幅 264mm ×奥行 33mm ×高さ 73mm				
		電源	単三形アルカリ乾電池：2 本				
	インテリアリモコン	寸法	幅 325mm ×奥行 130mm ×高さ 38mm				
		電源	単三形アルカリ乾電池：2 本				

※ 1：省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。

※ 2：省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

[注意] ●この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

修理・お取扱いのご相談 よくお読みください

修理を依頼する前にご確認ください

☑ 知っておけば便利で安心.....20 ～ 26 ページ
☑ 故障かな？と思ったら.....41 ～ 49 ページ

上記を確認しても改善しない場合

まず、お求めの取扱店へご相談ください。
お問い合せの際は、修理対象商品の下記内容をご確認ください。

トイレ：シリーズ名、品番

※ 左記内容が確認されていると、スムーズな修理対応が行えます。確認できる範囲で構いません。ご協力よろしくお願いします。

取扱店

ご購入年月日　　年　　月

TEL（　　）　　－

※ お取扱店がわからない・ご連絡できない場合は、下記のお客さま窓口へお問い合わせください。

お客さま窓口

LIXIL 公式 HP お客さまサポート

リクシル お客さまサポート　検索

http://www.lixil.co.jp/support/

●メールでのお問い合せ、Web 修理受付、Web パーツ販売をご利用いただけます。
その他コンテンツ
Q & A、所有者登録、長期保証サービスお申込み、お手入れ動画などがございます。

商品のお問い合せ

LIXIL お客さま相談センターへ
TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

※上記番号がご利用いただけない場合は、下記をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

【受付時間】 平日　9:00 ～ 18:00
土・日・祝日　9:00 ～ 17:00
※ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

修理・点検のご依頼

製品品番がご不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センターへ
TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

【受付時間】 9:00 ～ 19:00
（365 日受付）

Web 窓口は上記から

別売品のご購入

部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL パーツショップ〔水まわり部品販売〕へ
TEL 0120-126-015
http://parts-shop.lixil.co.jp/
【受付時間】 平日 9:00 ～ 17:00
※土日祝日・ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

●パーツショップは、お客さまご自身でお取換えいただける部品を宅配サービスにて取扱いする窓口です。お取換え作業時に特別な資格、技術が必要なものや、安全性に関わる部品は取扱っていません。

個人情報のお取扱いについて

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

GCW-1365A(22015)